

4. 高校生ニーズ

1) 高校生アンケートの概要

①調査目的

住民アンケートで対象としなかった、高校生の公共交通に対する意識調査を目的としてアンケートを実施した。

②調査対象者

市内の 14 高等学校の内、5 高等学校に通学する生徒

③調査期間

平成 23 年 11 月 7 日（月）～11 月 11 日（金）

④調査内容

- ・バスの認知度
- ・普段の通学の交通手段
- ・通学以外の移動の交通手段
- ・バスの利用価値・存在価値
- ・公共交通対策のための公的負担額
- ・回答者の属性 等

⑤調査方法

次の 5 高等学校に依頼し、任意の 1 クラス（約 40 名）でアンケート票を配布、回収した。

公立普通科：一宮高等学校、一宮北高等学校、一宮興道高等学校

公立工業科：起工業高等学校

私立普通科：大成高等学校

⑥回収数

一宮高等学校	41 票
一宮北高等学校	38 票
一宮興道高等学校	36 票
起工業高等学校	39 票
大成高等学校	32 票
合計	186 票

2) 結果

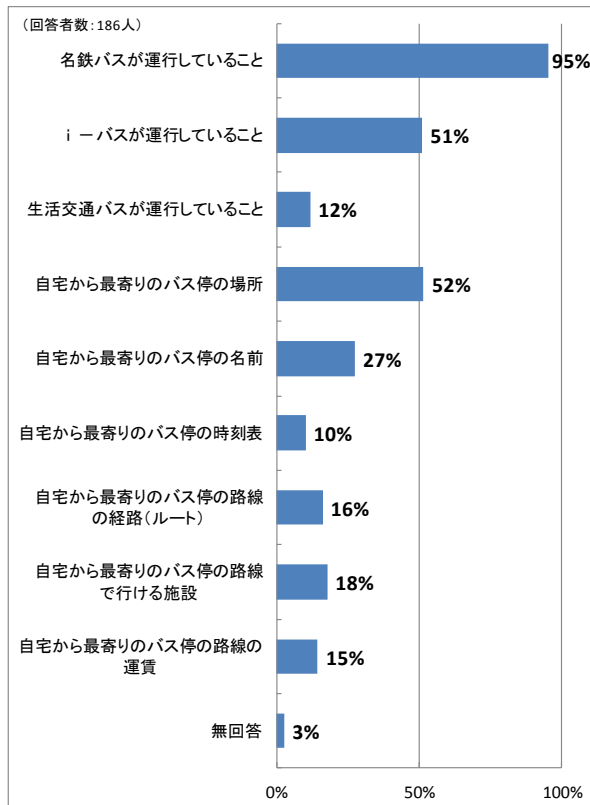
問 1 あなたがバスについて知っていること全てに○をつけてください。

1. 名鉄バスが運行していること
2. i-バスが運行していること⇒以下の知っているコースに○をつけてください。
(イ. 一宮コース ロ. 尾西北コース ハ. 尾西南コース ニ. 木曾川・北方コース)
3. 生活交通バスが運行していること⇒以下の知っているコースに○をつけてください。
(ホ. 千秋ふれあいバス ヘ. ニコニコふれあいバス)
4. 自宅から最寄りのバス停の場所
5. 自宅から最寄りのバス停の名前
6. 自宅から最寄りのバス停の時刻表
7. 自宅から最寄りのバス停の路線の経路(ルート)
8. 自宅から最寄りのバス停の路線で行ける施設
9. 自宅から最寄りのバス停の路線の運賃

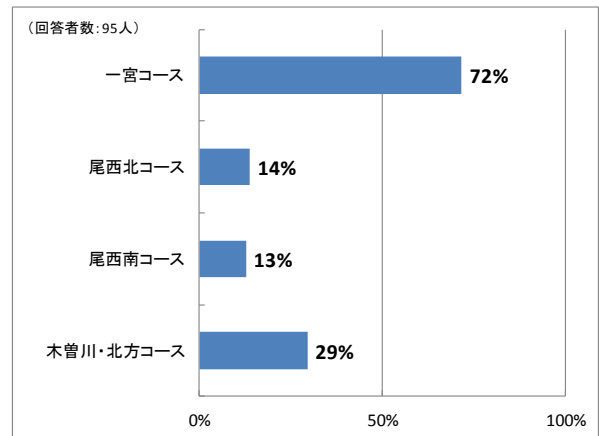
○名鉄バスが運行していることの認知度は、95%と高いが、その他の項目は、住民アンケートと比べて低くなっている。

▼地域の公共交通に関する自由意見(カテゴリー分類)

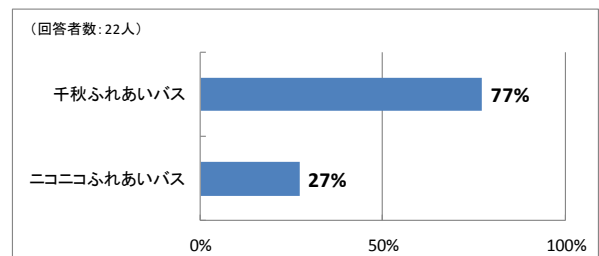
▼バスの認知度



▼i-バスのコース別の認知度



▼生活交通バスのコース別の認知度

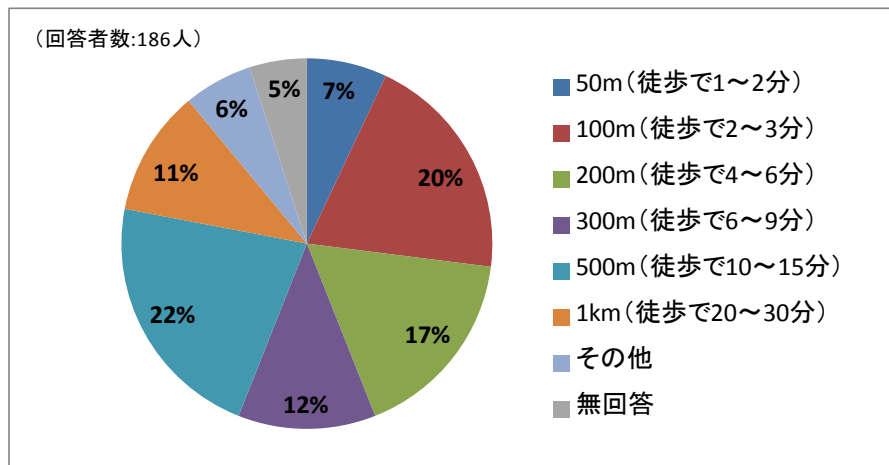


問 2 あなたのお住まいから最寄りの鉄道駅又はバス停までの距離をおしえてください。

- | | | |
|-------------------|---------------------|--------------------|
| 1. 50m (徒歩で1～2分) | 2. 100m (徒歩で2～3分) | 3. 200m (徒歩で4～6分) |
| 4. 300m (徒歩で6～9分) | 5. 500m (徒歩で10～15分) | 6. 1km (徒歩で20～30分) |
| 7. その他 () | | |

○最寄りの鉄道駅又はバス停までの距離は、「500m以内」が78%を占めている一方で、「1km」の方が11%存在している。

▼最寄りの鉄道駅又はバス停までの距離

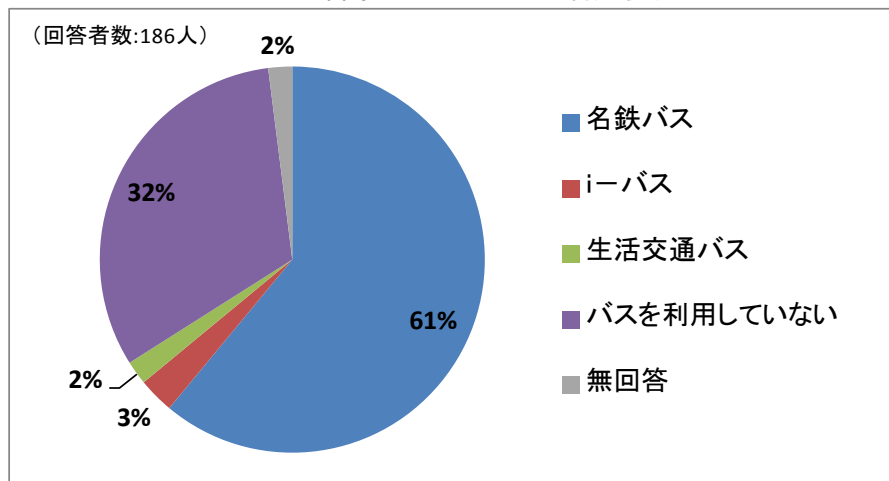


問 3 あなたはこの1年の間にバスを利用したことがありますか。バスを利用したことがある方は、主に利用したバスの種類に該当する番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 名鉄バス | 2. i-バス |
| 3. 生活交通バス | 4. バスを利用していない |

○この1年間におけるバスの利用状況は、「名鉄バス」が61%、「i-バス」が3%、「生活交通バス」が2%となっている。

▼この1年間におけるバスの利用状況

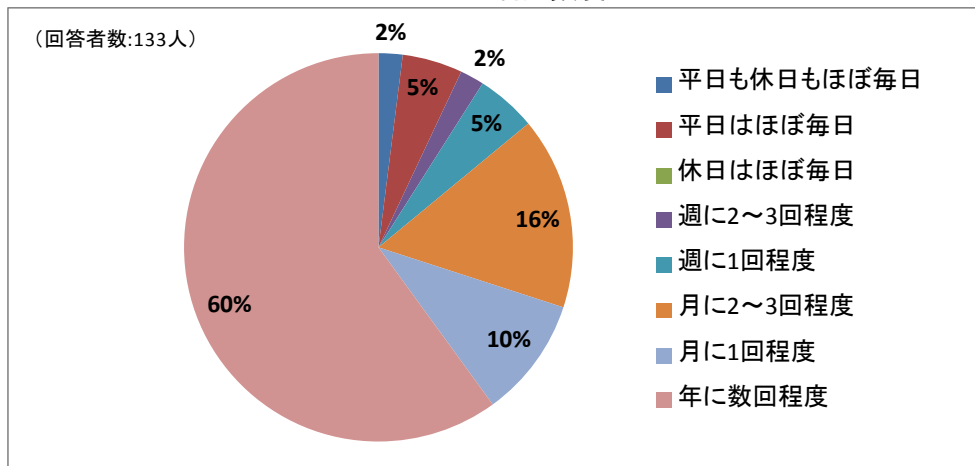


**問 4 あなたがこの1年の間にバスを利用した頻度をおしえてください。
該当する番号1つに○をつけてください。**

1. 平日も休日もほぼ毎日 2. 平日はほぼ毎日 3. 休日はほぼ毎日 4. 週に2~3回程度
5. 週に1回程度 6. 月に2~3回程度 7. 月に1回程度 8. 年に数回程度
9. 利用していない

○バス利用の頻度は、「年に数回程度」が60%を占めている。「週に1回程度」以上の定期的な利用は14%に留まっている。

▼バスの利用頻度

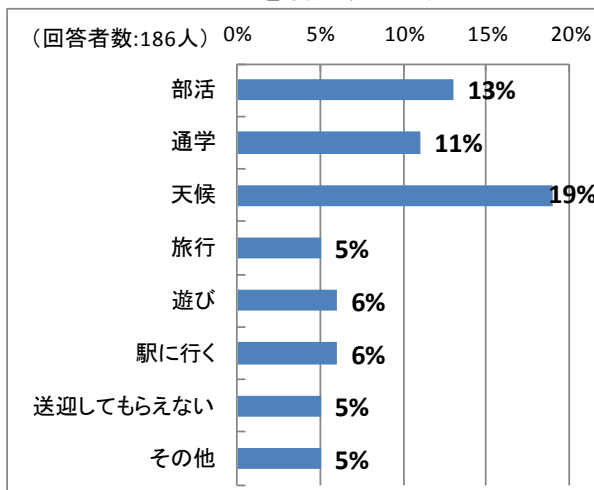


問 5 あなたがバスを利用するときにはどんな時ですか、あるいはバスを利用しない理由は何ですか。

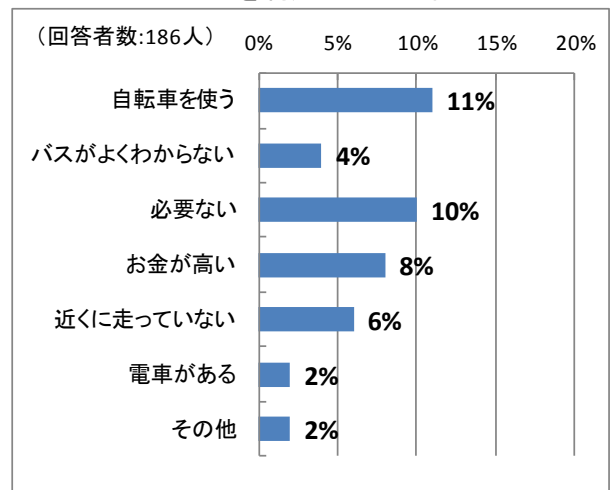
○バスを利用する理由は、「天候」が19%と最も多く、次いで「部活」が13%、「通学」が11%の順となっている。

○バスを利用しない理由は、「自転車を使う」が11%、「必要ない」が10%を占めている。また、「お金が高い」といった金銭的な理由も8%存在している。

▼バスを利用する理由



▼バスを利用しない理由

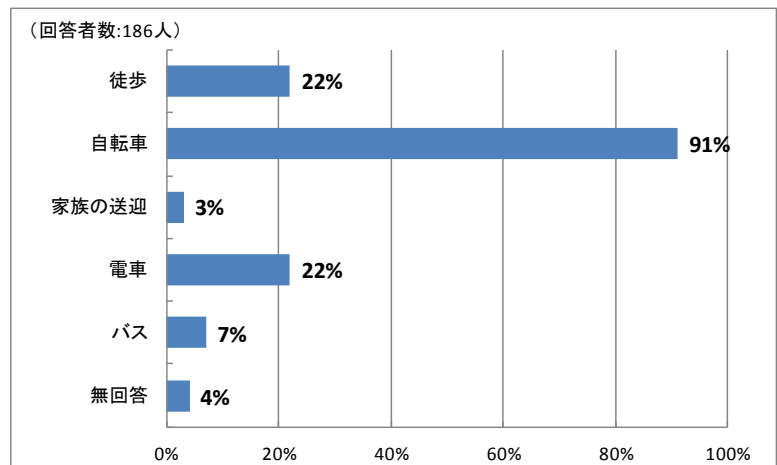


問 6 普段の通学手段を教えてください。（駅・停留所を利用しない場合は一番上の移動手段のみ記入してください。）

自宅
 ↓ <移動手段：徒歩・自転車・家族の送迎 所要時間（ ）分>
 駅・停留所
 ↓ <移動手段：電車・バス 所要時間（ ）分>
 駅・停留所
 ↓ <移動手段：電車・バス 所要時間（ ）分>
 駅・停留所
 ↓ <移動手段：徒歩・自転車・その他 所要時間（ ）分>
 学校

○普段の通学手段は、自転車が91%と高くなっている。

▼普段の通学手段

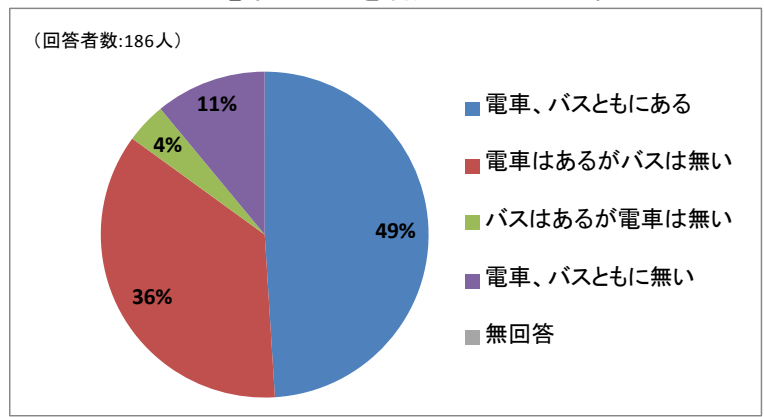


問 7 あなたは一人で電車やバスを利用（時刻や運賃を調べたり）した事がありますか

- 1. 電車、バスともにある
- 2. 電車はあるがバスは無い
- 3. バスはあるが電車は無い
- 4. 電車、バスともに無い

○一人で電車やバスを利用した経験は、「電車、バスともにある」が約49%を占めている。

▼一人で電車やバスを利用したことがあるか

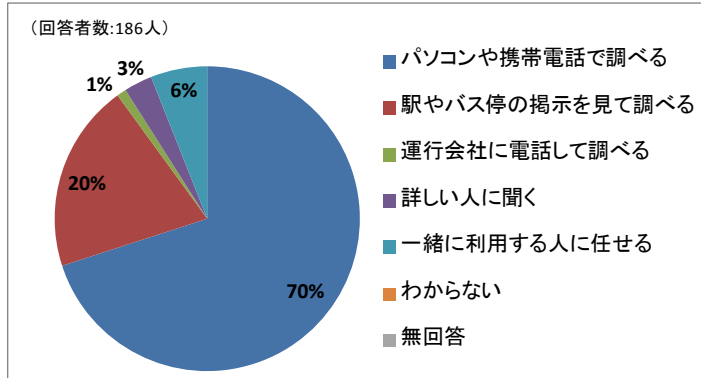


問 8 電車やバスを利用する時、時刻や運賃はどのように調べますか

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. パソコンや携帯電話で調べる | 2. 駅やバス停の掲示を見て調べる |
| 3. 運行会社に電話して調べる | 4. 詳しい人に聞く |
| 5. 一緒に利用する人に任せる | 5. わからない |

○電車やバスを利用する時の時刻や運賃の調べ方は、「パソコンや携帯電話で調べる」が約70%を占めている。

▼電車やバスを利用する時、どのように調べるか



問 9 通学以外の移動手段を教えてください。多い順に3つまで番号を記入してください。

<自分自身（または友達と）で移動する場合>

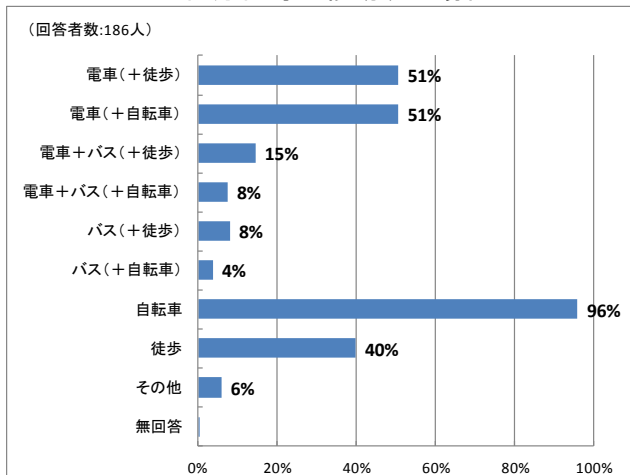
- | | | |
|----------------|-------------|---------------|
| 1. 電車（+徒歩） | 2. 電車（+自転車） | 3. 電車+バス（+徒歩） |
| 4. 電車+バス（+自転車） | 5. バス（+徒歩） | 6. バス（+自転車） |
| 7. 自転車 | 8. 徒歩 | 9. その他（ ） |

<家族（または大人と）で移動する場合>

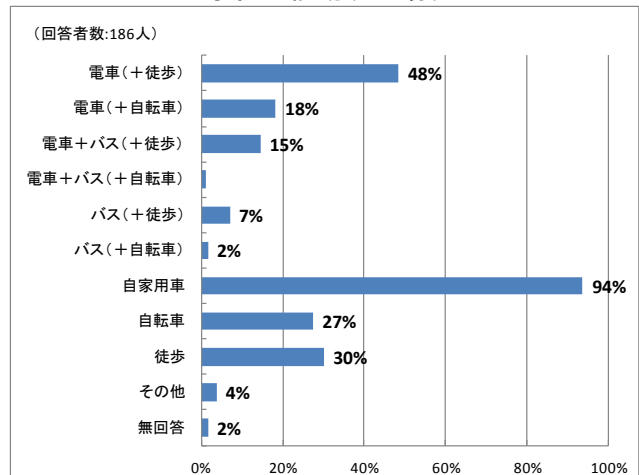
- | | | |
|----------------|-------------|---------------|
| 1. 電車（+徒歩） | 2. 電車（+自転車） | 3. 電車+バス（+徒歩） |
| 4. 電車+バス（+自転車） | 5. バス（+徒歩） | 6. バス（+自転車） |
| 7. 自家用車 | 8. 自転車 | 9. 徒歩 |
| 10. その他（ ） | | |

○通学以外の交通手段は、自分自身で移動する場合は、「自転車」が96%、家族と移動する場合は、「自家用車」が94%と高くなっている。

▼自分自身で移動する場合



▼家族と移動する場合

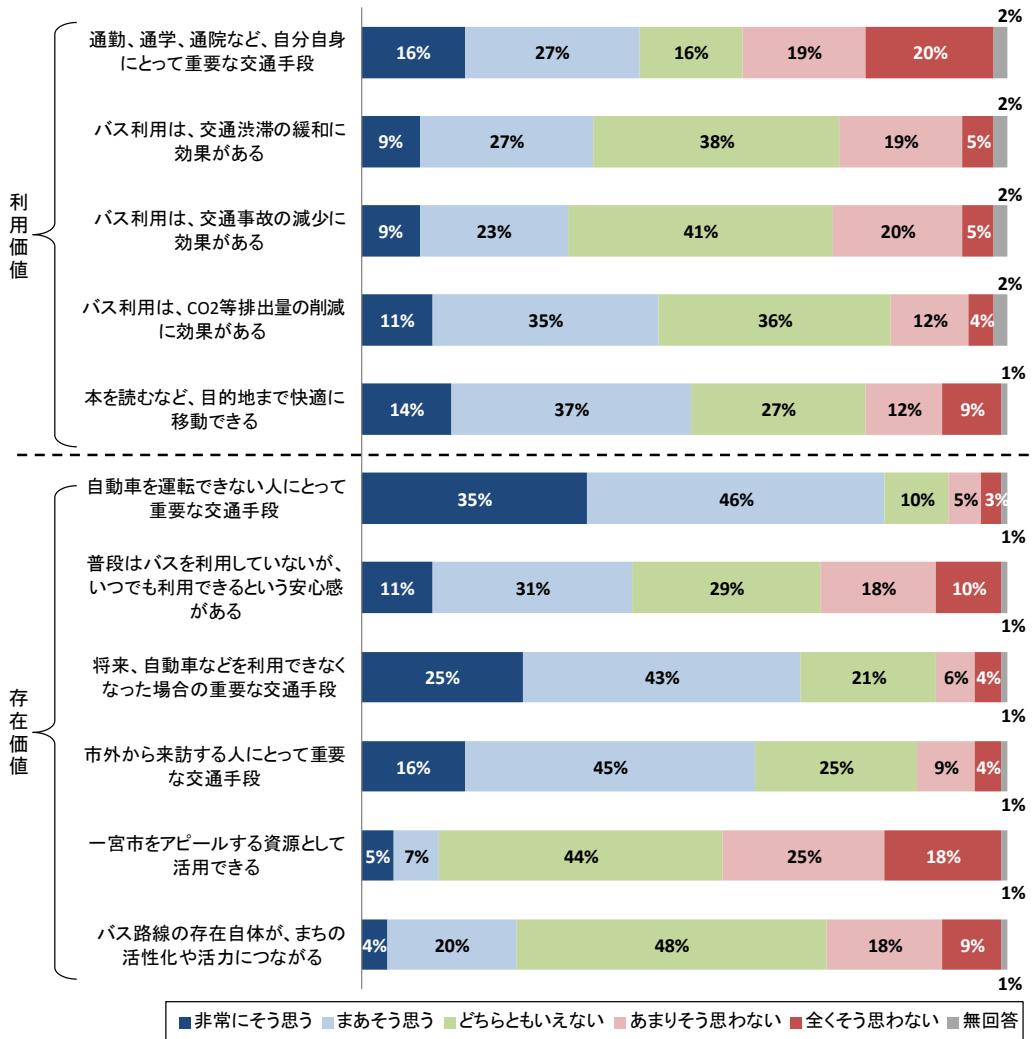


問10 あなたが感じているバス路線の利用や存在の価値を5段階で評価してください。設問ごとに該当する番号1つに○をつけてください。

利用価値及び存在価値の項目	非常に そう 思う	まあ そう 思う	ど ちら とも いえ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い
例：自動車を運転できない人にとって重要な交通手段	5	4	3	2	1
①通勤、通学、通院など、自分自身にとって重要な交通手段	5	4	3	2	1
②自動車を運転できない人にとって重要な交通手段	5	4	3	2	1
③バス利用は、交通渋滞の緩和に効果がある	5	4	3	2	1
④バス利用は、交通事故の減少に効果がある	5	4	3	2	1
⑤バス利用は、CO2等排出量の削減に効果がある	5	4	3	2	1
⑥普段はバスを利用していないが、いつでも利用できるという安心感がある	5	4	3	2	1
⑦将来、自動車などを利用できなくなった場合の重要な交通手段	5	4	3	2	1
⑧本を読むなど、目的地まで快適に移動できる	5	4	3	2	1
⑨市外から来訪する人にとって重要な交通手段	5	4	3	2	1
⑩一宮市をアピールする資源として活用できる	5	4	3	2	1
⑪バス路線の存在自体が、まちの活性化や活力につながる	5	4	3	2	1

○バス路線の価値を項目別にみると、「自動車を運転できない人にとって重要な交通手段」の「非常にそう思う」及び「まあそう思う」を合わせた割合が81%と高くなっている。

▼バス路線の利用価値と存在価値



問11 問10の①～⑪の項目について、あなたが重要と感じる項目を3つまで選び、重要と感じる順に該当する番号をご記入ください。

順位	1位	2位	3位
重要と感じる項目番号			

○「利用価値」の効果ウエイト約40%に対して、「存在価値」の効果ウエイト約60%と高くなっている。

▼バス路線の利用価値と存在価値の効果ウエイト

効果項目		効果ウエイト	
利用価値	①通勤、通学、通院など、自分自身にとって重要な交通手段	15.6%	39.6%
	③バス利用は、交通渋滞の緩和に効果がある	4.4%	
	④バス利用は、交通事故の減少に効果がある	4.7%	
	⑤バス利用は、CO2等排出量の削減に効果がある	7.2%	
	⑧本を読むなど、目的地まで快適に移動できる	7.7%	
存在価値	②自動車を運転できない人にとって重要な交通手段	27.3%	60.4%
	⑥普段はバスを利用していないが、いつでも利用できるという安心感がある	5.8%	
	⑦将来、自動車などを利用できなくなった場合の重要な交通手段	12.7%	
	⑨市外から来訪する人にとって重要な交通手段	10.0%	
	⑩一宮市をアピールする資源として活用できる	2.4%	
	⑪バス路線の存在自体が、まちの活性化や活力につながる	2.2%	
計		100%	100%

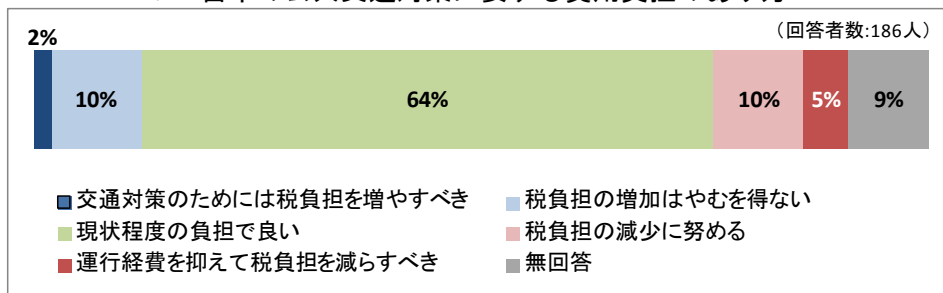
問12 現在、一宮市の公共交通対策のため、市の予算（税金）から費用を負担していますが、この費用負担のあり方についてあなたの考えをおしえてください。該当する番号1つに○をつけてください。

参考：平成21年度の市内バス路線への公的負担額約8千万円で、1人当たりの年間公的負担額は約210円/年です。

一宮市の公共交通対策に要する費用負担のあり方				
< 増加		← 現状	→ 減少	>
1. 交通対策のためには税負担を増やすべき	2. 税負担の増加はやむを得ない	3. 現状程度の負担で良い	4. 税負担の減少に努める	5. 運行経費を抑えて税負担を減らすべき

○公共交通対策に要する費用のあり方は、「現状程度の負担で良い」が64%を占めている。

▼一宮市の公共交通対策に要する費用負担のあり方

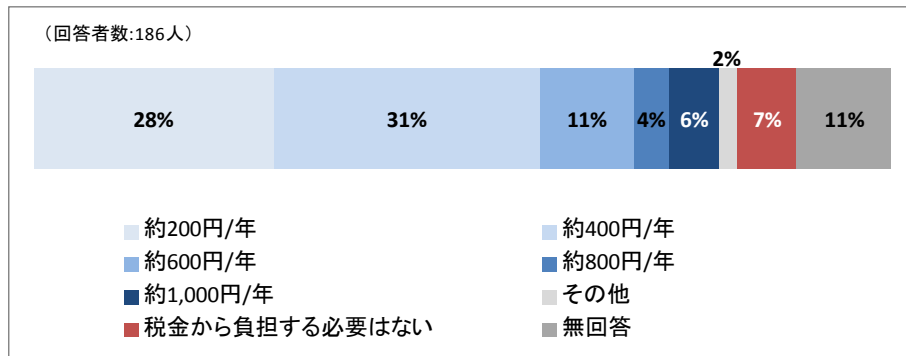


問13 一宮市の公共交通対策のために、市は年間どの程度までなら負担しても良いと思いますか。1人当たりの年間公的負担額をおしえてください。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|------------------|--------------|---------------------|
| 1. 約200円/年 | 2. 約400円/年 | 3. 約600円/年 |
| 4. 約800円/年 | 5. 約1,000円/年 | 6. その他 (_____ 円/年) |
| 7. 税金から負担する必要はない | | |

○1人当たりの年間公的負担額は、「400円」が31%と最も多く、次いで「200円」が28%となっており、「400円」以下の受諾率は59%を占めている。一方で、「税金から負担する必要はない」とする方7%、「無回答」11%を合わせた割合18%に対して、公的負担を認める方は82%を占めている。

▼一宮市の公共交通対策に要する公的負担額

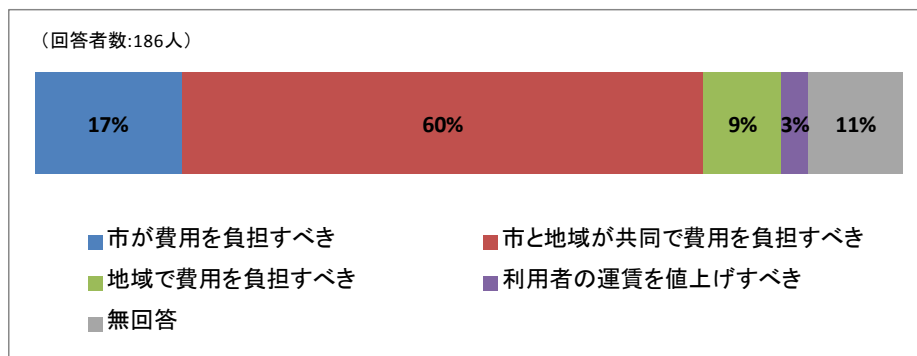


問14 一宮市内には公共交通の利用がしづらい地域が残っています。(P2公共交通路線網図参照) この地域の公共交通対策において、利用者の運賃収入で運行が維持できない場合の費用(運行欠損額)負担のあり方についてあなたの考えをおしえてください。該当する番号1つに○をつけてください。

公共交通が利用しづらい地域の公共交通対策に要する費用負担のあり方			
<市 ← 共同 ← 地域(町内会など) → 利用者>			
1. 市が費用を負担すべき	2. 市と地域が共同で費用を負担すべき	3. 地域で費用を負担すべき	4. 利用者の運賃を値上げすべき

○公共交通が利用しづらい地域の公共交通対策に要する費用のあり方は、「市と地域が協働で負担すべき」が60%を占めている。

▼公共交通の利用しづらい地域の公共交通対策に要する費用負担のあり方

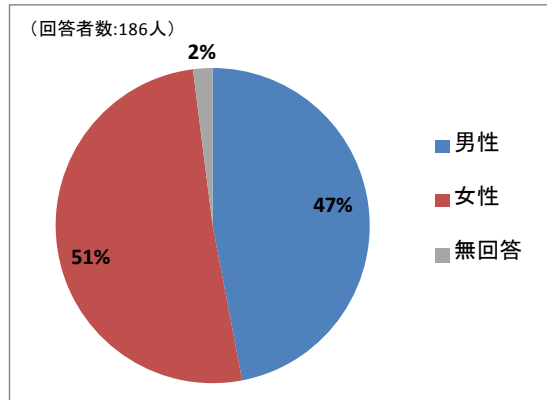


問 1 5 あなたの性別をおしえてください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

○回答者の性別は「男性」47%、「女性」51%とほぼ同数となっている。

▼性別

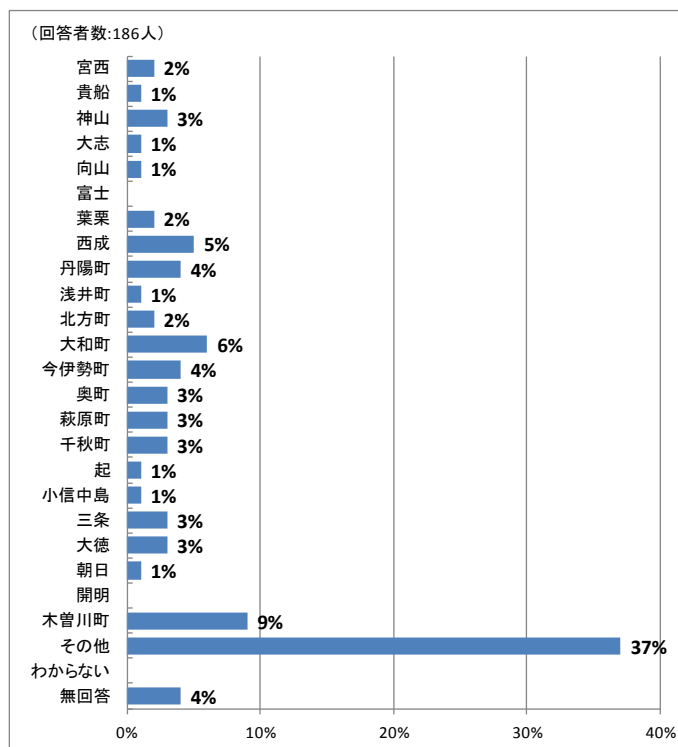


問 1 6 あなたのお住まいの地区をおしえてください。

1. 宮西	2. 貴船	3. 神山	4. 大志	5. 向山
6. 富士	7. 葉栗	8. 西成	9. 丹陽町	10. 浅井町
11. 北方町	12. 大和町	13. 今伊勢町	14. 奥町	15. 萩原町
16. 千秋町	17. 起	18. 小信中島	19. 三条	20. 大徳
21. 朝日	22. 開明	23. 木曾川町	24. その他 ()	
25. 地区が分からない方は小学校区をお書き下さい。 () 小学校区				

○回答者の居住地シェアは、木曾川町、大和町、西成の3地区が5%以上となっている。

▼居住地



問17 あなたのお住まいは、交通が便利だと思いますか。該当する番号1つに○をつけてください。

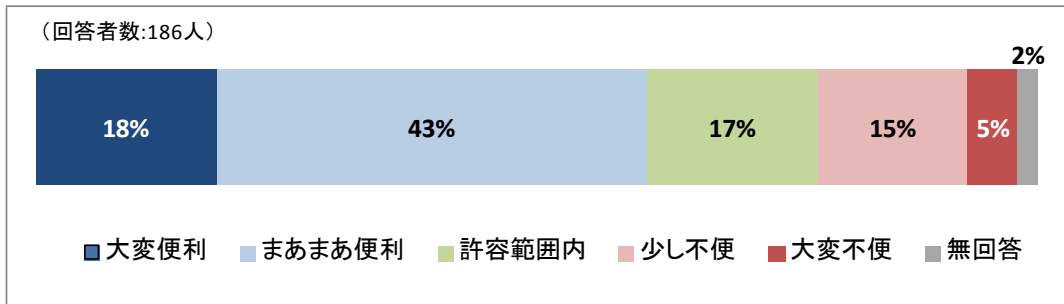
- | | | |
|---------|-----------|----------|
| 1. 大変便利 | 2. まあまあ便利 | 3. 許容範囲内 |
| 4. 少し不便 | 5. 大変不便 | |

問18 その理由は何ですか。該当する番号1つに○をつけてください。

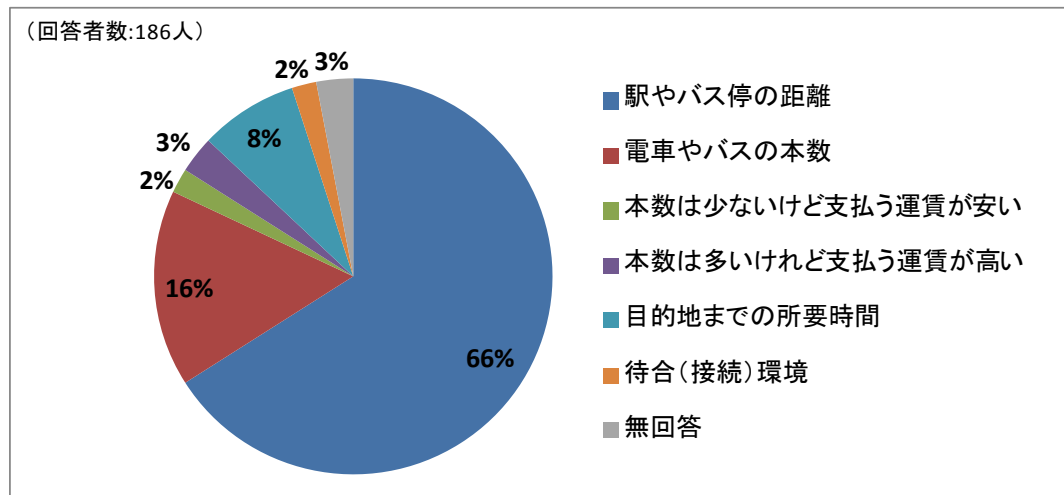
- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 駅やバス停が近い(遠い) | 2. 電車やバスの本数が多い(少ない) |
| 3. 本数は少ないけど支払う運賃が安い | 4. 本数は多いけれど支払う運賃が高い |
| 5. 目的地までの所要時間が短い(長い) | 6. 待合(接続)環境が良い(悪い) |

○居住地の交通環境は、「大変便利」又は「まあ便利」を合わせた割合が61%を占めており、その理由については、「駅やバス停の距離」が66%を占めている。

▼居住地の交通環境



▼その理由

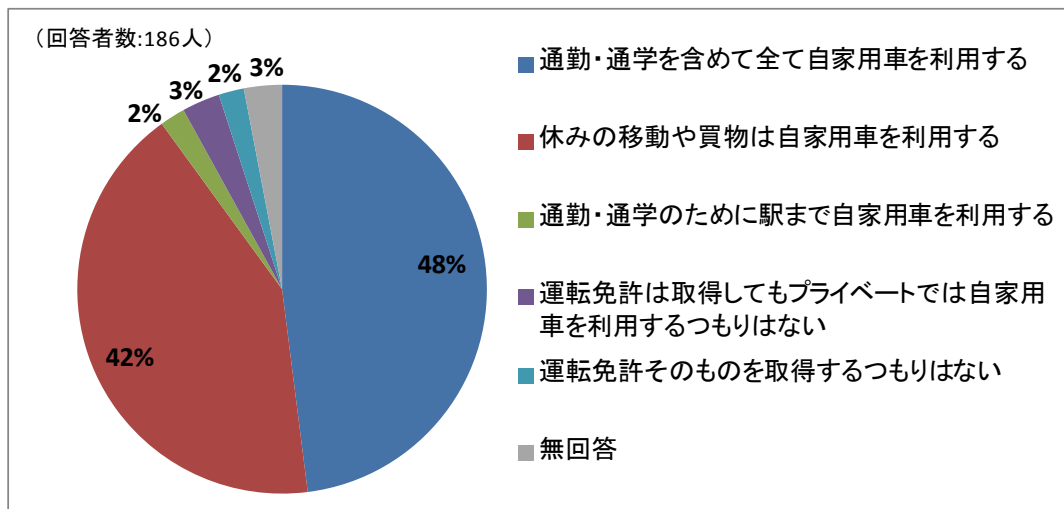


問19 将来運転免許証を取得した場合、自家用車を運転すると思いますか。該当する番号1つに○をつけてください。

1. 通勤・通学を含めて全て自家用車を利用する
2. 休みの移動や買物は自家用車を利用する
3. 通勤・通学のために駅まで自家用車を利用する
4. 運転免許は取得してもプライベートでは自家用車を利用するつもりはない
5. 運転免許そのものを取得するつもりはない

○将来、運転免許証を取得した場合、「通勤・通学を含めて全て自家用車を利用する」が48%、「休みの移動や買物は自家用車を利用する」が42%を占めている。

▼運転免許を取得した場合、自動車運転するか



3) まとめ

①高校生アンケート結果からみた特性

高校生は主に自転車を移動手段としており、大人と移動する場合には車に同乗して移動することが多い。そのため、バスへの関心が低く、名鉄バスが運行していること以外のバスに関する認知度が低くなっている。月に1回程度以上バスを利用する高校生の割合は、約40%で、学校の部活動時や雨や雪の日の通学時に利用するケースが多く、バスを利用しない理由は、「自転車を使う」「必要ない」「お金がかかる」「バスがよくわからない」とバスへの興味が薄いことがわかる。このことは、バスの利用価値、存在価値でも一般住民アンケートと比べて価値としての認識が低くなっていることから見て取ることができる。

電車やバスを利用する時の時刻や運賃を調べる方法は、「パソコンや携帯電話を使う」が約70%と高くなっていることから高校生は、パソコンや携帯電話から情報を収集していることがわかる。このことは、パソコンや携帯電話を使うバスロケーションシステム等でバスの運行位置を自宅で把握できれば、バスの到着直前にバス停に行くことが可能となり、バスの待ち時間を減らすことで、バスの改善要望の高い、バス停の待合環境の改善につながるとも考えられる。

※バスロケーションシステムとは、GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、バス停の表示板や携帯電話、パソコンに情報提供するシステム

②高校生アンケート結果のまとめ

- 名鉄バスが運行していることの認知度は、95%と高いが、その他の項目は、住民アンケートと比べて低くなっている。
- この1年間に名鉄バスを利用したことがある人は、61%と住民アンケートの33%の約2倍となっている。しかし、利用頻度には大きな差は見られない。これは、バスを利用する時を見ると、学校の部活動等で遠くに行く時や、雨や雪などの時の利用が多く、これらの利用は、あまり多い頻度でないことから見て取れる。
- バスを利用しない理由は、「自転車を使う」が11%、「必要ない」が10%を占めている。また、「お金が高い」といった金銭的な理由も8%存在している。
- 普段の通学手段は、自転車が91%と高くなっている。
- 電車やバスを利用する時の時刻や運賃の調べ方は、「パソコンや携帯電話で調べる」が約70%を占めている。
- 通学以外の交通手段は、自分自身で移動する場合は、「自転車」が96%、家族と移動する場合は、「自家用車」が94%と高くなっている。
- バス路線の利用価値、存在価値ともに住民アンケートと比べて、「非常にそう思う」又は「そう思う」の割合が低くなっている。
- 利用価値と存在価値の効果ウエイトは、住民アンケートが23%：77%であったのに比べ、高校生では40%：60%と利用価値を高く、存在価値を低く認識している。
- 住民アンケートと比べて、公共交通対策に要する費用負担は、公共交通対策への税負担の増加を認める割合が少なく、減少に努める割合が高くなっている。不便地域の費用負担のあり方については、「市と地域が共同で費用を負担すべき」が高くなっている。
- 将来、運転免許証を取得した場合は、「通勤・通学を含めて全て自家用車を利用する」が48%、「休みの移動や買物は自家用車を利用する」が42%と高くなっている。

5. 地域ニーズ

1) 地域意見交換会の開催目的

既存公共交通がサービスされる地域における公共交通の利用実態や改善等提案、公共交通利用不便地域における交通行動実態、公共交通に対するニーズ等、地域の交通特性に応じた生活交通システムのあり方を検討するうえで必要となるご意見・ご意向等の情報を把握することを目的として、地域意見交換会を開催した。

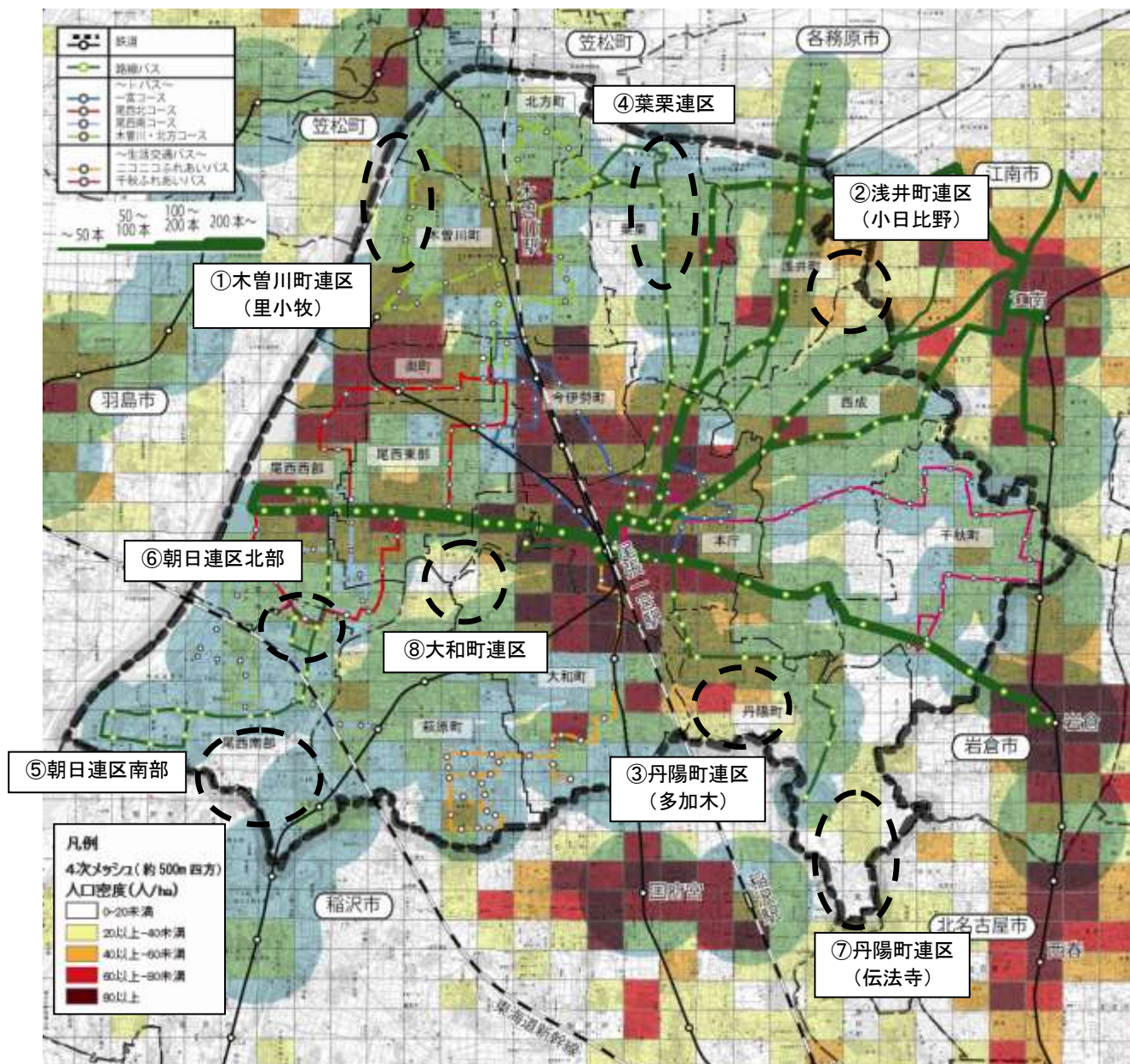
2) 実施概要

①開催日時と場所

開催地域は、市内で既存公共交通サービスが提供される地域、公共交通利用が不便な地域から8地域を選定するとともに、女性の会を1回開催した。(開催地域の場所は次頁図面参照)

回数	地区（町内会）	日時・場所	備考
第1回	①木曾川町連区 (里小牧1～11、里新)	平成23年11月4日（金） 午後7時～ 里小牧神明公民館	i-バス運行地域
第2回	②浅井町連区 (小日比野本郷・新田、宝生町)	平成23年11月7日（月） 午後3時～ 小日比野新田公民館	交通空白地域
第3回	③丹陽町連区 (多加木1～5)	平成23年11月7日（月） 午後7時～ 多加木公民館	交通空白地域
第4回	④葉栗連区 (山郷、本郷、土居、小路、杉山、 東大毛西、西大毛)	平成23年11月10日（木） 午後7時～ 葉栗公民館	光明寺線運行地域
第5回	⑤朝日連区南部 (南部区代表、明地西・中・東、 藤吉、玉野1・2、上祖父江1・2、 西中野、東加賀野井、下祐久)	平成23年11月14日（月） 午後3時30分～ 南部生涯学習センター	交通空白地域
第6回	⑥朝日連区北部 (蓮池1・2、西浦、西萩原新町、 東浦1・2、下屋敷、西萩原宿舎)	平成23年11月14日（月） 午後7時～ 西萩原新町公民館	i-バス運行地域
第7回	⑦丹陽町連区 (五日市場、伝法寺本郷・新田)	平成23年11月16日（水） 午後7時～ 伝法寺本郷公民館	交通空白地域
第8回	⑧大和町連区 (毛受、福森)	平成23年11月18日（金） 午後7時～ 福森公民館	交通空白地域
第9回	⑨女性の会	平成23年12月6日（月） 午前10時～ 尾西庁舎3F第1会議室	女性の会

▼地域意見交換会開催地区



②実施方法

- ・一宮市より意見交換会開催の趣旨を説明
- ・名古屋大学福本氏がファシリテーターを務め、「普段の外出先」、「外出する際に困っていること」、「既存公共交通の利活用や公共交通の必要性」などについて、ポストイットカードへの記入や対話形式で意見交換会を進行
- ・出席者から出された意見・意向はポストイットカードに記入し、カテゴリー別に整理した後、意見交換会の結果として出席者と確認

3) 実施結果

各地域の結果を次頁以降に整理する。

地域意見交換会の結果（①木曾川町連区里小牧）

(1)実施概要

日 時：11月4日（金）19時～21時

場 所：里小牧神明公民館

参加者：地域住民12名（男性11名、女性1名）

▽地域意見交換会の会場風景



(2)意見交換会で出された意見・意向について

普段の外出先の特徴

- 買物先は平和堂、イオン木曾川店、カネスエ開明店など木曾川町内及び隣接地区の商業施設が多く、大半が自動車利用。
- 鉄道駅は JR 木曾川駅、新木曾川駅が多く、大半が自動車利用。
- 医療機関は最寄りの開業医が多く、市民病院等の総合病院への需要は少ない。

外出する際の問題点

<鉄道について>

- 最寄り駅まで遠く、自動車が利用できない人の移動が問題。（特に雨の日）
- JR 木曾川駅に公衆電話がなく、送迎の際に困っている。
- JR 木曾川駅周辺の駐車場が少ない。

<バスについて>

- i-バスの JR 木曾川駅の最寄りバス停が駅舎から遠くて不便。
- i-バスの一方向運行や、運行案内に関する情報の不足が不満。
- カネスエなどのスーパーへバスで行けない。

<その他>

- 国道 22 号アクセス道路（東西方向）の混雑が問題。

既存公共交通の利活用についてのアイデア

- JR 木曾川駅のロータリーに i-バスを乗り入れる
- 行きは JR、帰りは名鉄を使うなどの工夫をすれば、バスを有効利用できる（このような乗り方を紹介すべきとの意見）
- バスを知っていただくための無料乗車券の配布や、老人ホームでのバスの乗り方教室や手持ち時刻表の作成等による、バスの周知・PR、市内の名所を巡るバスや自由乗降者区間の導入



日常的な移動手段は自動車で JR 木曾川駅、名鉄新木曾川駅等の鉄道駅や平和堂、イオン木曾川店、カネスエ開明店等の商業施設など、木曾川町内及び隣接地区といった比較的近距离の移動となっている。バス利用者は少数であり、バスを利用しない理由としてバスに関する情報が不足していることを問題視する意見が多く出された。既存公共交通の利活用にあたっては、バス試乗の無料乗車券の配布やバスの乗り方教室など、バスの周知・PR に関する意見が多く出されるとともに、バス利用者からは鉄道駅を利用する際のかしこいバスの使い方（行きは JR 利用、帰りは名鉄利用）などが紹介された。

地域意見交換会の結果（②浅井町連区小日比野）

(1)実施概要

日 時：11月7日（月）15時～17時
場 所：小日比野新田公民館
参加者：地域住民11名（男性10名、女性1名）

▽地域意見交換会の会場風景



(2)意見交換会で出された意見・意向について

普段の外出先の特徴

- 鉄道駅、スーパー、病院など、日常的な生活行動において、一宮市内での移動に加え、隣接する江南市への移動が多い
- 一宮市内では一宮駅、最寄りのカネスエなどへの買物、市民病院や大雄会病院への通院で大半が自動車利用。最寄りの尾州病院へは徒歩利用。
- 江南市へは、江南駅、アピタ江南西店への自動車利用が多い。
- バスを利用する機会は少ない。
- 高校生の移動手段は主に自転車。

外出する際の問題点

<バスについて>

- バス停までの距離が遠く、徒歩での利用は困難。バス停周辺の施設に自動車や自転車をとめて、バスを利用される人もいる。
- 昼間のバス本数が少ない。名鉄バスの運賃が高い（一宮駅を利用する場合、バス代より駐車場代の方が安い場合もある。）
- 地区内の企業バスが利用可能だが、一宮駅とのシャトルバスのため、市民病院等へ途中下車ができない。
- アピタ江南西店へバスで行きたいが行けない。

<その他>

- 車が運転できなくなった時が不安。（将来的にはバスを利用するとの意向）
- 町内には一方通行の道路が多く、使い勝手が悪い。

既存公共交通の利活用についてのアイデア

- 尾州病院近くにバス停を設置
- 昼間時間帯の運賃割引など、社会実験の実施
- 小日比野を通るルートをつくり、路線バス一宮・宮田線の何便かを新ルートへ回す



日常的な移動手段は自動車利用が主体であり、現段階では公共交通の利用意向は低いものの、将来的な公共交通の利用意向は示されている。既存公共交通の利活用にあたっては、既存路線バスの一部を当該地域経由としたルート変更、企業バスの途中停車（病院など）へのバス停設置、バス停への駐輪場整備、昼間時間帯の運賃割引に加え、生活圈となっている江南市へのアクセス強化などの提案が出された。

地域意見交換会の結果 (③丹陽町連区多加木)

(1)実施概要

日 時：11月7日(月) 19時～21時
場 所：多加木公民館
参加者：地域住民12名(男性12名)

▽地域意見交換会の会場風景



(2)意見交換会で出された意見・意向について

普段の外出先の特徴

- 鉄道駅、スーパーなどの日常的生活行動において、一宮市内での移動に加え、稲沢市への移動が多い。
- 一宮市内での移動は、一宮駅、スーパー(アオキ、ピアゴ等)、病院(市民病院、大雄会病院)のほか、娯楽施設(温泉、ゴルフ練習場など)への自動車利用が多い
- 稲沢市へは、稲沢駅、国府宮駅といった鉄道利用や大規模商業施設(リーフウォーク)へ自動車による移動が多い。

外出する際の問題点

<自動車に代わる交通手段の確保について>

- 現在は自動車利用が主体であるが、将来的に自動車が利用できなくなった時に代替交通手段がないことが不安。
- 高齢者などの自動車を利用できない方は、最寄りのスーパーや鉄道駅までの移動手段がない。
- 学生は通学手段として自転車を利用しているが、自転車しかないことが問題。
- 名古屋へ外出する際に、鉄道駅での駐車場代による経済的負担が不満。

<バスについて>

- 最終便が早いこと、運行本数が少ないことに不満。
- 居住者の多くは、バス利用を前提としていない(自動車利用を前提とする)方が多い。
- バス停が遠いこと、自転車を利用してもバス停に駐輪場がないことが問題。

既存公共交通の利活用についてのアイデア

- バス停付近に駐輪場を整備。
- バス停をきめ細かく配置。
- 定時性を確保し、運行案内等の情報提供を充実。



日常的生活行動は最寄りスーパーや市中心部の一宮駅、市民病院等への需要と、稲沢市の大規模商業施設への需要が多く、異なる方向への移動ニーズが確認された。公共交通の利用意向は、現段階では低いものの、将来的な利用意向は示されており、既存公共交通の利活用にあたっては、バス停における駐輪場の整備、きめ細かなバス停の配置やバスの運行に関する情報提供の充実などの提案が出された。

地域意見交換会の結果（④葉栗連区）

(1)実施概要

日 時：11月10日（木）19時～21時

場 所：葉栗公民館

参加者：地域住民12名（男性12名）

▽地域意見交換会の会場風景



(2)意見交換会で出された意見・意向について

普段の外出先の特徴

- 買物先はアピタ木曾川店や浅井町のカネスエといった隣接地区への自動車利用が多い。
- 鉄道駅は一宮駅の利用が見られる一方、木曾川駅の利用も多く、大半が自動車利用。
- JR木曾川駅は送迎目的での自動車利用や学生の自転車利用が多い。
- レクリエーション目的で138タワーの利用が多い。

外出する際の問題点

<バスについて>

- 光明寺線の運行本数が少なく不便なため、タクシーや一宮川島線を利用する人がいる。
- 東西方向の移動に対する公共交通手段がないことが問題。
- 一宮駅を中心に放射状にバスが運行されているため、どこへ行くにも一宮駅を経由しないと行けないことに不満。
- バス運賃が高いことに不満。

<その他>

- 光明寺交差点等の主要な交差点に右折車線がないため、朝・夕のピーク時間帯を中心に混雑する。
- 徒歩利用圏域に八百屋がなくなってしまったため、車がないと買物へ行けないことが問題。

既存公共交通の利活用についてのアイデア

- 高齢者への運賃割引（敬老パス等）による運賃負担の軽減。
- 木曾川駅や浅井町及び江南市方面の商業施設等を連絡する東西方向のバス路線を提案。
- 光明寺線を川島の河川環境楽園まで延伸し、岐阜市方面からのバスと相互乗り入れを提案。
- 一宮駅やまちなかへ行くより、木曾川駅から名古屋へ行きたいといった需要が多い。
- 一宮駅や本町へ行きたくなる魅力を高める必要がある（「見る」「食う」などの施設が必要）。



日常的な生活行動において、木曾川駅や木曾川町、浅井町及び江南市の商業施設利用が多く、東西方向の移動ニーズが確認された。公共交通の利用意向は、現段階では低いものの、将来的な利用意向は示されており、既存公共交通の利活用にあたっては、運行本数の増加や高齢者運賃割引、河川環境楽園への延伸といった改善案が出された。また、一宮駅を中心とする放射状のバス路線が必ずしも利用者ニーズに合致しているとは言い難く、木曾川駅や商業施設等を連絡する東西方向に運行するバス路線の新設の提案が出された。

地域意見交換会の結果（⑤朝日連区南部）

(1)実施概要

日 時：11月14日（月）15時30分～17時30分

場 所：南部生涯学習センター

参加者：地域住民11名（男性11名）

▽地域意見交換会の会場風景



(2)意見交換会で出された意見・意向について

普段の外出先の特徴

- 鉄道駅、スーパーなどの日常的生活行動において、一宮市内の移動に加え、稲沢市への移動も多い。
- 一宮市内での移動は、鉄道駅（一宮駅、萩原駅、玉野駅）、スーパー（アオキ、ピアゴ、キリオ等）、病院（一宮西病院、一宮市民病院等）、公共施設（尾西庁舎、南部公民館等）のほか金融機関（JA愛知西、三菱東京UFJ銀行尾西支店等）といった多様な施設への自動車利用が多い
- 稲沢市へは、スーパー（アピタ稲沢店、ヨシヅヤ稲沢店等）への自動車利用が多い。

外出する際の問題点

<移動が困難なこと>

- 自動車が利用できない人は買物や通院等の日常的生活に対する移動が不便。
- 特に高齢者は自由に使える移動手段がなく、タクシーの料金が高いことが問題。

<バスについて>

- 通勤時のバス利用において、路線バスの最終便が早いため、残業時に利用できないことに不満。
- 玉野駅と尾西高校を連絡するバスが廃止されたため、通学の交通手段の確保が問題。
- 路線バスの料金が高く（尾西線の方が安い）、運行本数が少ないことに不満。

既存公共交通の利活用についてのアイデア

- 路線バスやi-バスとは異なる交通手段（福祉的な移動に対応した交通手段、他都市の事例を踏まえた公共交通不便地域の移動を支援する交通手段等）が必要。
- 地域のニーズを踏まえ、路線バスに限定されないタクシーや予約制バスなど、萩原駅や玉野駅を連絡する新たな交通手段の導入。
- 尾西庁舎や尾西図書館への移動ニーズが多いことから、現行のi-バスを朝日連区南部へ乗り入れ。



日常的生活行動は最寄りの鉄道駅、スーパー、医療機関及び公共施設に加え、稲沢市内のスーパーなどへ自動車の利用を主体とする多様な需要が確認された。今後の交通体系のあり方については、i-バスの地区内乗り入れといった既存交通手段の活用策や、路線バスやi-バスなどの定時定路線運行とは異なる予約制バスや福祉的な移動に対応した新たな交通手段の導入に関する提案が出された。

地域意見交換会の結果（⑥朝日連区北部）

(1)実施概要

日 時：11月14日（月）19時00分～21時00分

場 所：西萩原新町公民館

参加者：地域住民8名（男性8名）

▽地域意見交換会の会場風景



(2)意見交換会で出された意見・意向について

普段の外出先の特徴

- 最寄りの商業施設への買物や南部公民館へのクラブ活動などの需要が多く、大半が自動車利用。
- 稲沢市の大規模商業施設への買物需要も多い。
- 鉄道駅については、一宮駅へは自動車、バスによる利用、二子駅へは自転車による利用が多い。
- 一宮駅よりも国府宮駅の駐車料金が安いので、国府宮駅でのパーク＆ライド利用が多い。
- 医療機関については、尾西病院や最寄りの開業医へタクシー（ワンメーターで行ける）を利用する方が比較的多い。
- 名鉄バス起線を利用する場合、バス停周辺施設の駐輪場を利用している。

外出する際の問題点

- 当該地区には名鉄バス起線、i-バス尾西北コース、尾西南コースが運行されているが、バスを利用する人は少なく、自動車による移動が主体となっている。
- 交通弱者予備軍が地域内に多く存在し、将来的な移動に対して不安を持っている。
- 自動車を利用できない高齢者が買物の際の交通手段に困っている人もいる。

<バスについて>

- 公民館などのイベントとバスの運行時間が合わない。
- i-バスの乗り継ぎや、所要時間に不満。

<その他>

- 一宮市中心部への道路は混雑するため、稲沢市へ行った方が早い。

既存公共交通の利活用についてのアイデア

- バス車両の小型化や、商業施設等へのバス乗り入れ。



朝日地区は新幹線を境に南北で生活圏が異なり、北部は一宮市中心部の商業施設や公共施設への需要が多く存在している。当該地区はバス路線や鉄道利用が充実しており、名鉄バス起線や尾西線二子駅へ自転車で利用する方もみられるが、移動の大半は自動車利用となっている。既存バス路線の利活用については、起線バス停での駐輪場の充実や市中心部へ至る道路混雑の解消が挙げられ、i-バスでは、公共施設の開設時間とのダイヤ調整や、地区内に立地する商業施設等へのきめ細かなバス停設置に関する提案が出された。

地域意見交換会の結果 (⑦丹陽町連区伝法寺)

(1)実施概要

日 時：11月16日(金) 17時00分～18時30分

場 所：伝法寺本郷公民館

参加者：地域住民13名(男性13名)

▽地域意見交換会の会場風景



(2)意見交換会で出された意見・意向について

普段の外出先の特徴

- 日常的な生活行動において、地区内の移動に加え、稲沢市への移動も多い。
- 地区内の移動は、最寄りのスーパー(ピアゴ伝法寺店、アオキ等)や公共施設(丹陽町出張所等)への自動車利用が多く、市中心部の病院(大雄会病院、市民病院等)、への自動車利用もある。
- 稲沢市への移動は、大規模商業施設(リーフウォーク等)や稲沢駅へ自動車及び自転車での利用が多い。また、岩倉駅への自動車利用もみられる。
- 通学の交通手段は、市内高校へは自転車利用、市外高校へは稲沢駅及び岩倉駅まで自転車利用。
- 一宮駅へのバス所要時間と名古屋市への自動車所要時間は同程度のため、一宮駅へ行く機会は年に数回程度と少なく、名古屋市へ直接自動車で行っている。

外出する際の課題点

- 高齢者の移動手段がなく、タクシーを利用する人もいる。
- 自動車が利用できない方は、近所の方との相乗り利用や、路線バスのバス停まで徒歩又は自転車で行っている。
- 公共交通について、今は自動車が利用できるため困っていないが、将来的な移動は不安。
- 国道22号の朝夕の混雑や、稲沢市下津交差点の朝の混雑が問題。
- 稲沢駅周辺と一宮駅周辺の駐車場が不足していることに不満。
- 丹陽線は、一宮駅までの所要時間が長く、最終バスの時間が早いことに不満。

既存公共交通の利活用についてのアイデア

- 丹陽線のルートを提案(九日市場～ピアゴ～五日市場～旧国道22号経由一宮駅)。
- 岩倉駅～当該地区～稲沢駅を結ぶ新ルート導入を提案。



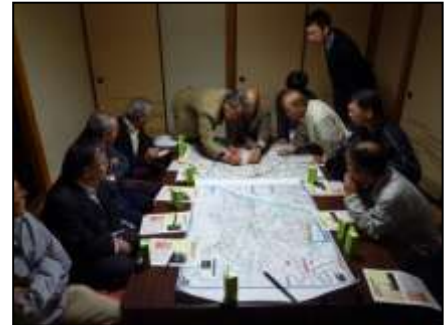
日常的な生活行動は最寄りの商業施設等への自動車利用に加え、稲沢駅・岩倉駅や大規模商業施設への自動車及び自転車利用も多い。公共交通の利用意向は、自動車が利用できる現段階では低いものの、将来的には不安を抱き、既存路線のルート変更といった活用策や、岩倉駅及び稲沢駅を連絡する新ルートの導入に関する提案が出された。

地域意見交換会の結果（③大和町連区）

(1)実施概要

日時：11月18日（金）17時00分～18時30分
場所：福森公民館
参加者：地域住民11名（男性10名、女性1名）

▽地域意見交換会の会場風景



(2)意見交換会で出された意見・意向について

普段の外出先の特徴

- 買物先は最寄りのピアゴ、ヤマナカなどへ自動車利用。
- 鉄道駅は一宮駅へ自動車と自転車利用がそれぞれ半数。
- 医療機関は最寄りの開業医の利用が多く、市民病院、一宮西病院への利用頻度は低い。

外出する際の問題点

- 起線バス停までの距離と一宮駅までの距離が同程度であるため、直接一宮駅を利用している。
- 一宮駅では駐輪場不足や駐車場料金の高さなどに不満を抱いている。
- 一宮駅へアクセスする道路の混雑や歩道の狭さ、自転車利用者のマナーの悪さが問題。
- 地区内に公共交通が運行されていないため、自動車が利用できない高齢者などの買物や通院の移動が不便であり、タクシーを利用する人もいる。

既存公共交通の利活用についてのアイデア

- 起線を利用して一宮駅へ行っている方もいるため、バス停周辺での駐輪場や上屋などを整備。
- 起線は運行本数が多いため、一部便を地区内経由とすることで需要が喚起される。
- その場合にあっては、利用者ニーズ（運行本数、時間帯など）を踏まえたサービスの提供が必要。



日常的な生活交通は、最寄りのスーパーや開業医など地区内の移動が多いが、専ら自動車利用が主体となっている。一宮駅を利用する需要は多いものの、一宮駅までの距離と最寄りの起線バス停までの距離が同程度のため、一宮駅まで自動車又は自転車を利用することが多い。そのため、地区と一宮駅間の道路の混雑、歩道の狭さに加え、自転車利用者のマナーの悪さが問題とされている。最寄りの起線の利活用策としては、現利用者の利便性向上のためにバス停周辺での駐輪場などの付帯施設の充実が出されるとともに、自動車利用が困難となった将来の移動の不安に対して一部便の地区内経由ルートへの変更の提案が出された。

地域意見交換会の結果（㊟女性の会）

(1)実施概要

日 時：12月6日（月）10時00分～11時30分

場 所：尾西庁舎 3F 第1会議室

参加者：女性 10名

(2)意見交換会で出された意見・意向について

普段の外出先の特徴

- 買物先は市内のイオンモール木曾川キリオ、三心、アオキスーパー、カネスエ、アピタ、名鉄百貨店および市外のアピタ稲沢店、カラフルタウンなどへ自動車利用、最寄りの平和堂、ピアゴ、ヤマナカへは自転車または徒歩利用。
- 鉄道駅は一宮駅が多く、自動車、バス、自転車と多様な交通手段で利用。
- 医療機関は最寄りの開業医の利用が多く、市民病院、一宮西病院への利用頻度は低い。
- その他の施設として、総合体育館、尾西運動場、大野極楽寺公園、138タワー、文化広場、博物館、美術館、喫茶店など、数多くの施設を自動車または自転車で利用。
- これまでの地域意見交換会は、主に男性の出席者が多く、普段の外出先も比較的限定的なものであったが、今回の女性の会では、日常生活行動から非日常的な娯楽、レクリエーションなど、多様な目的で多様な場所へ移動していることが分かった。

外出する際の問題点

- 運賃が高い、バス停が遠い、時間が制約される、1週の所要時間が長い、バス停を知らないなどの理由によりバスを利用しないとしている。
- また、学生は運賃が高い、自転車の方が早いとの理由により自転車利用が多いことが確認できた。しかし、イオンモール木曾川キリオへはi-バスを乗り継いで利用している場合もある。
- 体が不自由な方はタクシーを利用しているとの意見もあった。

既存公共交通の利活用についてのアイデア

- 運賃が安くなれば、用事が無くてもバスで出かけたいくなる。
- 1週の所要時間が20分ぐらいになれば、双方向になれば、乗り継ぎ割引があればなど、サービス水準の改善がされた場合には、バスを利用するとの意見が出された。
- i-バスを総合体育館まで延伸すれば利用が増える、目的地までの所要時間は短くなれば利用しやすくなる（バスに長時間乗るのは時間の無駄と思う）といった意見が出された。



これまでの主に男性の意見と比較して今回の女性の会では、日常的な買物から非日常的な娯楽、レクリエーションといった多様な目的で、最寄りから市内外の広範といった多様な場所へ移動していることが分かった。また、日常的な買物において、スーパー等へはほぼ毎日利用する方もいれば、週に1回程度といった方も存在しており、利用頻度は個人により異なることや、仮にバス運賃が無料になったとしても、スーパーへは荷物があるため不便との理由でバスは利用しないとしている。

i-バスの利活用については、運賃の値下げや総合体育館までの延伸に加え、目的地までの所要時間が短くなれば、現利用者の利便性が高まるだけでなく、新たな利用者也創出されるとの提案が出された。

1. アンケート調査票

公共交通に関する住民アンケートのお願い

皆様には、日頃から一宮市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

一宮市の公共交通は、JR東海、名古屋鉄道といった鉄道、尾張一宮駅・名鉄一宮駅を中心に放射状に運行される名鉄バスと、一宮市が公共施設の利便性向上を目的として運行する一宮市循環バス（iーバス（一宮コース、尾西北コース、尾西南コース、木曾川・北方コース）、バス路線が撤退した地域において公共交通不便地区の解消を目的とした生活交通バス（千秋ふれあいバス・ニコニコふれあいバス））があります。

このように、一宮市には鉄道や3種類のバスが運行されていますが、それぞれが異なる目的で運行されているため、相互の連携が図られていないところもあります。また、市内には公共交通を利用することが困難な地区が残っており、これら地区での移動手段確保の問題を抱えています。

つきましては、一宮市では、利用者にとって利便性の高い公共交通ネットワークの構築を検討するため、一宮市交通計画策定協議会を設置し、調査の一環として市内の20歳以上の方の中から無作為に3,000人の方を抽出させていただき、ご意見をお伺いして、市内公共交通の利用実態やバス利用に関する問題点・課題などを把握させていただくこととしました。

ご多忙の折とは存じますが、ぜひともご協力をお願いします。

平成23年9月

一宮市長 谷 一夫

記入にあたってのお願い

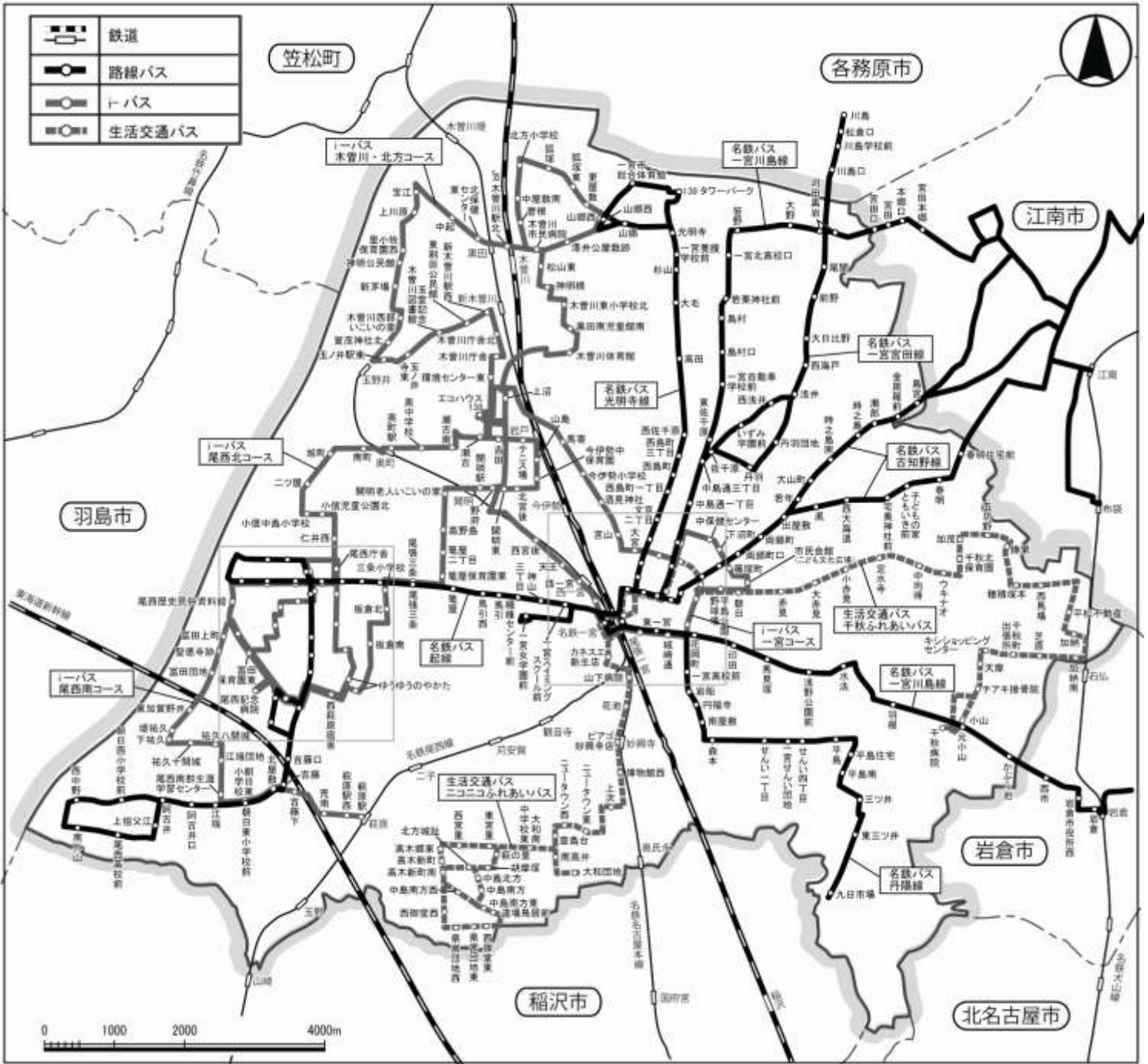
1. アンケートは、**封筒の宛名の方がご回答**ください。
2. ご回答は、設問ごとに該当する番号に○をつけるか、必要事項をご記入ください。
3. ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**9月30日（金）まで**にお近くのポストに投函してください。
4. ご回答いただいた調査結果は、統計的に処理し、本調査の目的以外には使用しません。

〔アンケートに関するお問い合わせ〕

一宮市交通計画策定協議会

（事務局）一宮市企画部地域ふれあい課（0586-28-8955）伊藤、松岡

一宮市の公共交通路線網図



尾西地区中心部拡大図



一宮駅周辺拡大図



公共交通に関する住民アンケート調査票

■全ての方におたずねします。

問 1 あなたがバスについて知っていること全てに○をつけてください。

1. 名鉄バスが運行していること
2. i-バスが運行していること⇒以下の知っているコースに○をつけてください。
(イ. 一宮コース ロ. 尾西北コース ハ. 尾西南コース ニ. 木曾川・北方コース)
3. 生活交通バスが運行していること⇒以下の知っているコースに○をつけてください。
(ホ. 千秋ふれあいバス ヘ. ニコニコふれあいバス)
4. 自宅から最寄りのバス停の場所
5. 自宅から最寄りのバス停の名前
6. 自宅から最寄りのバス停の時刻表
7. 自宅から最寄りのバス停の路線の経路 (ルート)
8. 自宅から最寄りのバス停の路線で行ける施設
9. 自宅から最寄りのバス停の路線の運賃

問 2 あなたにとってのバスの必要性について、該当する番号1つに○をつけてください。

1. 今利用しており、今後も利用するため必要
2. 今利用していないが、利用できる環境にあり、条件次第で利用するため必要
3. 今は利用できる環境にないが、条件が整えば利用するため必要
4. 自動車などが利用できない時に利用する可能性があるため必要
5. 自分自身は利用しないが、家族などが利用するため必要
6. 今のところ利用する予定はない
7. その他 (_____)

問 3 あなたのお住まいから最寄りの鉄道駅又はバス停までの距離をおしえてください。

1. 50m (徒歩で1~2分)
2. 100m (徒歩で2~3分)
3. 200m (徒歩で4~6分)
4. 300m (徒歩で6~9分)
5. 500m (徒歩で10~15分)
6. 1km (徒歩で20~30分)
7. その他 (_____)

問 4 あなたはこの1年の間にバスを利用したことがありますか。バスを利用したことがある方は、主に利用したバスの種類に該当する番号1つに○をつけてください。

1. 名鉄バス
 2. i-バス
 3. 生活交通バス
 4. バスを利用していない
- } ⇒問 5 (P 4) 以降をお答えください。
- ⇒問 8 (P 4) 以降をお答えください。

■バスを利用した方(問4で1～3を回答された方)におたずねします。

問 5 自宅からあなたが主に利用するバス停までの交通手段をおしえてください。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------|------------------|--------|
| 1. 自動車 | 2. 原付・バイク | 3. 自転車 |
| 4. 徒歩 | 5. その他 (_____) | |

問 6 あなたがこの1年の間にバスを利用した頻度をおしえてください。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|-------------|------------|-------------|
| 1. 平日も休日もほぼ毎日 | 2. 平日はほぼ毎日 | 3. 休日はほぼ毎日 | 4. 週に2～3回程度 |
| 5. 週に1回程度 | 6. 月に2～3回程度 | 7. 月に1回程度 | 8. 年に数回程度 |

問 7 あなたがバスを利用する主な目的をおしえてください。該当する番号全てに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------|-------|----------|-----------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 通院・検診 | 4. 買物 |
| 5. 飲食・飲酒・娯楽 | 6. 業務 | 7. 会合 | 8. 習い事・趣味 |
| 9. その他 (_____) | | | |

⇒問7を回答された方は問11(P5)以降をお答えください。

■バスを利用していない方(問4で4を回答された方)におたずねします。

問 8 あなたがバスを利用しない理由に該当するもの全てに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 1. バスでは目的地に行けないから | 2. 自宅から最寄りのバス停が遠いから |
| 3. 目的地・施設の最寄りバス停が遠いから | 4. 利用したい時間帯にバスが運行していないから |
| 5. バスでは目的地までの所要時間がかかるから | 6. バスの運賃が高いから |
| 7. バスと他の交通手段との乗り継ぎが面倒だから | 8. バスのルートを知らないから |
| 9. 最寄りバス停の時刻表を知らないから | 10. 最寄りバス停の場所を知らないから |
| 11. 他の交通手段の方が便利だから | 12. バスを利用する必要がないから |
| 13. その他 (具体的に記入してください _____) | |

問 9 問8のバスを利用しない理由が改善された場合、あなたはバスを利用しても良いと思いますか。該当する番号1つに○をつけ、必要事項をご記入ください。

- | |
|--|
| 1. 利用しても良いと思う |
| 2. 改善されても利用しないと思う ⇒利用しない理由をご記入ください。
(利用しない理由: _____) |
| 3. わからない |
| 4. その他 (具体的に記入してください _____) |

問 10 あなたのお住まいからバス停までの距離がどの程度までなら、バスを利用することが可能ですか。

- | | | |
|-------------------|---------------------|--------------------|
| 1. 50m (徒歩で1～2分) | 2. 100m (徒歩で2～3分) | 3. 200m (徒歩で4～6分) |
| 4. 300m (徒歩で6～9分) | 5. 500m (徒歩で10～15分) | 6. 1km (徒歩で20～30分) |
| 7. その他 (_____) | | |

■バス利用について全ての方におたずねします。

問 1 1 あなたがバスで行く、もしくはバスで行けたら便利だと思う施設をおしえてください。該当する番号全てに○をつけるとともに、利用施設の頻度に該当する番号をご記入ください。

【利用頻度】

- ①平日も休日ほぼ毎日 ②平日はほぼ毎日 ③休日はほぼ毎日
 ④週に2～3回程度 ⑤週に1回程度 ⑥月に2～3回程度
 ⑦月に1回程度 ⑧年に数回

上記の選択肢から番号をお選びください。

番号	施設名称	利用頻度	番号	施設名称	利用頻度
例 ③1	138タワーパーク	⑥	28	尾西スポーツセンター	
1	一宮警察署		29	一宮市総合体育館	
2	一宮市役所		30	エコハウス138	
3	市役所尾西庁舎		31	138タワーパーク	
4	市役所木曾川庁舎		32	尾西グリーンプラザ	
5	() 出張所		33	() 子育て支援センター	
6	一宮市民病院		34	() いこいの家	
7	木曾川市民病院		35	ゆうゆうのやかた	
8	いまいせ心療センター		36	市民活動支援センター	
9	尾西記念病院		37	一宮税務署	
10	山下病院		38	一宮年金事務所	
11	大雄会病院		39	() 郵便局	
12	一宮西病院		40	尾張一宮駅・名鉄一宮駅	
13	泰玄会病院		41	JR木曾川駅	
14	() 病院・医院		42	名鉄新木曾川駅	
15	一宮保健所		43	() 駅	
16	一宮市博物館		44	ファッションデザインセンター	
17	三岸節子記念美術館		45	真清田神社	
18	尾西歴史民俗資料館		46	妙興寺	
19	木曾川資料館		47	金融機関 ()	
20	() 図書館		48	本町商店街	
21	一宮市民会館		49	イオンモール木曾川キリオ	
22	尾西市民会館		50	アピター宮店	
23	一宮地域文化広場		51	アピタ木曾川店	
24	一宮子ども文化広場図書館		52	スーパー ()	
25	尾西文化広場		53	その他 ()	
26	尾西生涯学習センター		54	その他 ()	
27	一宮スポーツ文化センター		55	その他 ()	

* 金融機関及びスーパーなどについては、支店名までご記入ください。

問 1 2 あなたが感じているバス路線の利用や存在の価値を 5 段階で評価してください。設問ごとに該当する番号 1 つに○をつけてください。

利用価値及び存在価値の項目	非常にそう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない
例：自動車を運転できない人にとって重要な交通手段	5	④	3	2	1
①通勤、通学、通院など、自分自身にとって重要な交通手段	5	4	3	2	1
②自動車を運転できない人にとって重要な交通手段	5	4	3	2	1
③バス利用は、交通渋滞の緩和に効果がある	5	4	3	2	1
④バス利用は、交通事故の減少に効果がある	5	4	3	2	1
⑤バス利用は、CO2 等排出量の削減に効果がある	5	4	3	2	1
⑥普段はバスを利用していないが、いつでも利用できるという安心感がある	5	4	3	2	1
⑦将来、自動車などを利用できなくなった場合の重要な交通手段	5	4	3	2	1
⑧本を読むなど、目的地まで快適に移動できる	5	4	3	2	1
⑨市外から来訪する人にとって重要な交通手段	5	4	3	2	1
⑩一宮市をアピールする資源として活用できる	5	4	3	2	1
⑪バス路線の存在自体が、まちの活性化や活力につながる	5	4	3	2	1

問 1 3 問 1 2 の①～⑪の項目について、あなたが重要と感じる項目を 3 つまで選び、重要と感じる順に該当する番号をご記入ください。

順位	1 位	2 位	3 位
重要と感じる項目番号			

問 1 4 現在、一宮市の公共交通対策のため、市の予算（税金）から費用を負担していますが、この費用負担のあり方についてあなたの考えをおしえてください。該当する番号 1 つに○をつけてください。

参考：平成 21 年度の市内バス路線への公的負担額約 8 千万円で、1 人当たりの年間公的負担額は約 210 円/年です。

一宮市の公共交通対策に要する費用負担のあり方				
< 増加	←	現状	→	減少 >
1. 交通対策のためには税負担を増やすべき	2. 税負担の増加はやむを得ない	3. 現状程度の負担で良い	4. 税負担の減少に努める	5. 運行経費を抑えて税負担を減らすべき

問 1 5 一宮市の公共交通対策のために、市は年間どの程度までなら負担しても良いと思いますか。1 人当たりの年間公的負担額をおしえてください。該当する番号 1 つに○をつけてください。

1. 約 200 円/年	2. 約 400 円/年	3. 約 600 円/年
4. 約 800 円/年	5. 約 1,000 円/年	6. その他（_____円/年）
7. 税金から負担する必要はない		

問 1 6 一宮市内には公共交通の利用がしづらい地域が残っています。（P 2 公共交通路線網図参照）この地域の公共交通対策において、利用者の運賃収入で運行が維持できない場合の費用（運行欠損額）負担のあり方についてあなたの考えをおしえてください。該当する番号 1 つに○をつけてください。

公共交通が利用しづらい地域の公共交通対策に要する費用負担のあり方			
< 市	← 共同	← 地域（町内会など） →	利用者 >
1. 市が費用を負担すべき	2. 市と地域が共同で費用を負担すべき	3. 地域で費用を負担すべき	4. 利用者の運賃を値上げすべき

*地域の費用負担とは、利用の有無にかかわらず、運行地域の町内会が費用負担するなど、地域全体で運行を維持することです。

■あなたご自身のことについておたずねします。

問 1 7 あなたの性別をおしえてください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問 1 8 あなたの年齢をおしえてください。

1. 20 歳代	2. 30 歳代	3. 40 歳代
4. 50 歳代	5. 60 歳以上 64 歳以下	6. 65 歳以上 69 歳以下
7. 70 歳以上 74 歳以下	8. 75 歳以上	

問 19 あなたのご職業をおしえてください。

- | | | |
|-----------------|--------------|------------|
| 1. 会社員（公務員を含む） | 2. 自営業 | 3. 専業主婦・主夫 |
| 4. 学生 | 5. アルバイト・パート | 6. 無職 |
| 7. その他（ _____ ） | | |

問 20 あなたのお住まいの地区（連区）をおしえてください。

- | | | | | |
|---|---------|----------|--------|---------|
| 1. 宮西 | 2. 貴船 | 3. 神山 | 4. 大志 | 5. 向山 |
| 6. 富士 | 7. 葉栗 | 8. 西成 | 9. 丹陽町 | 10. 浅井町 |
| 11. 北方町 | 12. 大和町 | 13. 今伊勢町 | 14. 奥町 | 15. 萩原町 |
| 16. 千秋町 | 17. 起 | 18. 小信中島 | 19. 三条 | 20. 大徳 |
| 21. 朝日 | 22. 開明 | 23. 木曾川町 | | |
| 24. 地区が分からない方は小学校区をお書き下さい。 （ _____ ） 小学校区 | | | | |

問 21 あなたは自動車を自由に使えますか。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 自由に使える自動車がある | 2. 家族と共同で使える自動車がある |
| 3. 家族などが送迎してくれる自動車がある | 4. 自由に使える自動車はない |
| 5. その他（ _____ ） | |

問 22 あなたは原付・バイク又は自転車を自由に使えますか。

- | | | |
|--------|---------|-----------------|
| 1. 使える | 2. 使えない | 3. その他（ _____ ） |
|--------|---------|-----------------|

問 23 路線バス、i-バス及び生活交通バスや公共交通が利用しづらい地域の交通対策など、地域の公共交通に関するご意見、ご意向がありましたら、自由にお書きください。

<自由意見欄>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。このアンケート調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**9月30日（金）まで**にお近くのポストに投函してください。

公共交通に関する利用者アンケートのお願い

皆様には、日頃から一宮市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

一宮市の公共交通は、JR東海、名古屋鉄道といった鉄道、尾張一宮駅・名鉄一宮駅を中心に放射状に運行される名鉄バスと、一宮市が公共施設の利便性向上を目的として運行する一宮市循環バス（iバス（一宮コース、尾西北コース、尾西南コース、木曾川・北方コース））、バス路線が撤退した地域において公共交通不便地区の解消を目的とした生活交通バス（千秋ふれあいバス・ニコニコふれあいバス）があります。

このように、一宮市には鉄道や3種類のバスが運行されていますが、それぞれが異なる目的で運行されているため、相互の連携が図られていないところもあります。また、市内には公共交通を利用することが困難な地区が残っており、これら地区での移動手段確保の問題を抱えています。

つきましては、一宮市では、利用者にとって利便性の高い公共交通ネットワークの構築を検討するため、一宮市交通計画策定協議会を設置し、調査の一環として平日1日の名鉄バス（3路線）、iバス及び生活交通バス（全コース）の全便利用者を対象とさせていただき、ご意見をお伺いして、市内公共交通の利用実態やバス利用に関する問題点・課題などを把握させていただくこととしました。

ご多忙の折とは存じますが、ぜひともご協力をお願いします。

平成23年9月

一宮市長 谷 一夫

記入にあたってのお願い

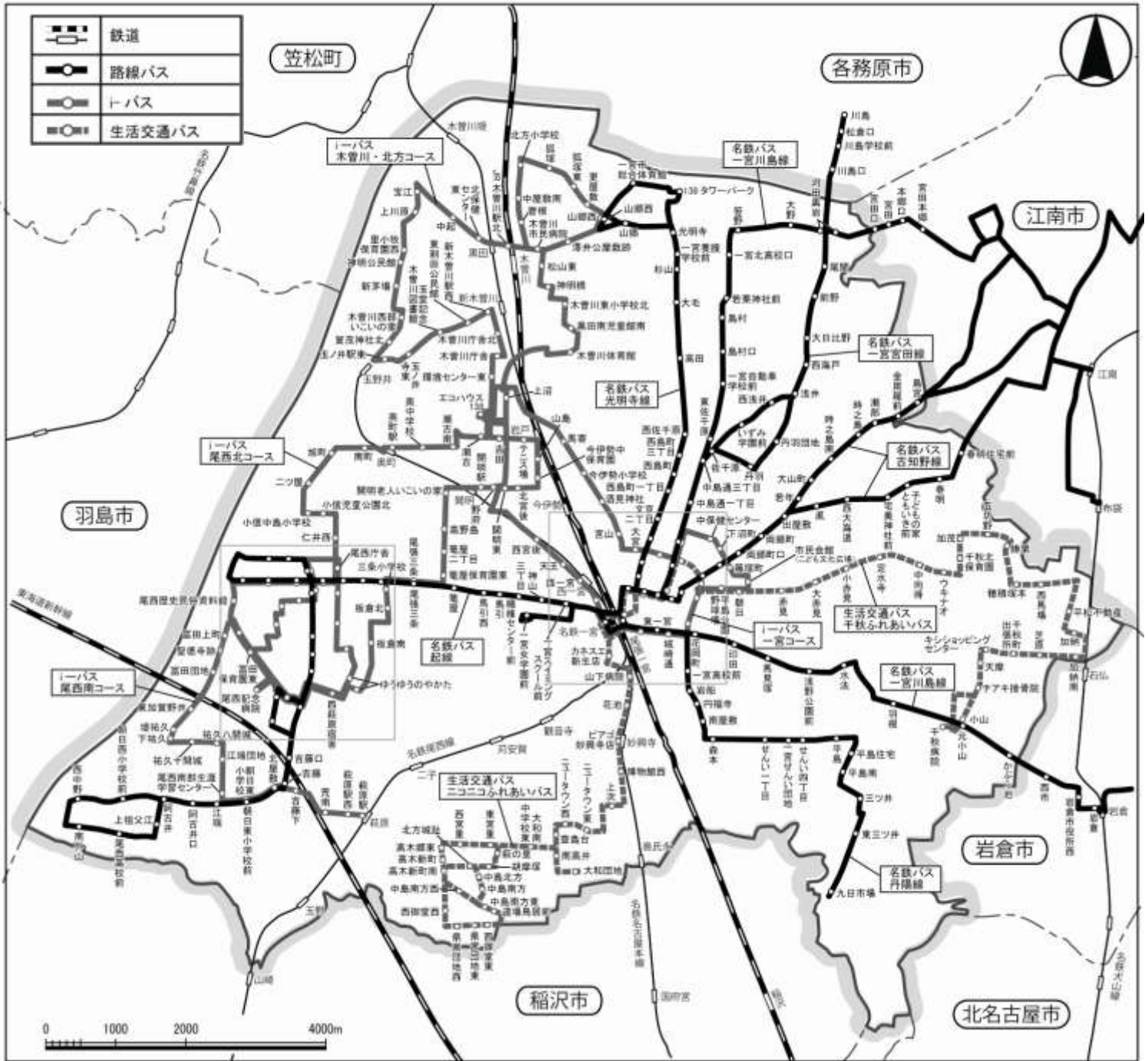
1. アンケートは、**アンケートをお受け取りいただいた方がご回答**ください。
2. ご回答は、設問ごとに該当する番号に○をつけるか、必要事項をご記入ください。
3. アンケートを複数お受け取りいただいた方は、1通のみご記入ください。
4. ご回答いただいた調査票は、アンケートをお渡しさせていただいた封筒（切手不要）にて、**10月7日（金）まで**にお近くのポストに投函してください。
5. ご回答いただいた調査結果は、統計的に処理し、本調査の目的以外には使用しません。

〔アンケートに関するお問い合わせ〕

一宮市交通計画策定協議会

（事務局）一宮市企画部地域ふれあい課（0586-28-8955）伊藤、松岡

一宮市の公共交通路線網図



尾西地区中心部拡大図



一宮駅周辺拡大図



公共交通に関する利用者アンケート調査票

■アンケートを受け取った際のバス利用などについておたずねします。

- 問 1 あなたがアンケートを受け取った際に利用していたバスの種類、乗車・降車バス停名及び定期券の保有に該当する番号1つに○をつけてください。
- また、鉄道又は他のバス路線から乗り継いだ方、鉄道又はバスへ乗り継ぐ方は、乗り継ぎを行った交通手段と鉄道駅又はバス停名をおしえてください。市外からの移動又は市外へ移動される方は一宮市内の移動についておしえてください。

	＜鉄道・バスから乗り継ぎされた方＞	アンケートを受け取った際の交通手段	＜鉄道・バスへ乗り継ぎされた方＞
	アンケートを受け取る前の交通手段		アンケートを受け取った後の交通手段
利用交通手段	1. JR東海道本線 2. 名鉄名古屋本線 3. 名鉄尾西線 4. 名鉄犬山線 5. 名鉄バス 6. i-バス一宮コース 7. i-バス尾西北コース 8. i-バス尾西南コース 9. i-バス木曾川・北方コース 10. ニコニコふれあいバス 11. 千秋ふれあいバス	1. 名鉄バス光明寺線 2. 名鉄バス起線 3. 名鉄バス一宮川島線 4. i-バス一宮コース 5. i-バス尾西北コース 6. i-バス尾西南コース 7. i-バス木曾川・北方コース 8. ニコニコふれあいバス 9. 千秋ふれあいバス	1. JR東海道本線 2. 名鉄名古屋本線 3. 名鉄尾西線 4. 名鉄犬山線 5. 名鉄バス 6. i-バス一宮コース 7. i-バス尾西北コース 8. i-バス尾西南コース 9. i-バス木曾川・北方コース 10. ニコニコふれあいバス 11. 千秋ふれあいバス
乗車	() 駅・バス停	() バス停	() 駅・バス停
降車	() 駅・バス停	() バス停	() 駅・バス停
定期券の保有	1. 通勤定期を持っている 2. 通学定期を持っている 3. 持っていない	1. 通勤定期を持っている 2. 通学定期を持っている 3. 持っていない	1. 通勤定期を持っている 2. 通学定期を持っている 3. 持っていない

問 2 問1でお答えいただいた一宮市内の移動について、一宮市内にお住まいの方は、自宅と利用バス停間の交通手段と所要時間、一宮市外にお住まいの方は、利用バス停と目的施設間の交通手段と所要時間をおしえてください。それぞれ該当する番号1つに○をつけてください。

<交通手段>

- | | | |
|--------|------------------|--------|
| 1. 自動車 | 2. 原付・バイク | 3. 自転車 |
| 4. 徒歩 | 5. その他 (_____) | |

<所要時間>

- | | | |
|------------------|----------------|----------------|
| 1. 5分未満 | 2. 5分以上～10分未満 | 3. 10分以上～20分未満 |
| 4. 20分以上～30分未満 | 5. 30分以上～60分未満 | 6. 60分以上 |
| 7. その他 (_____) | | |

問 3 あなたがアンケートを受け取った際に利用されたバスの利用頻度をおしえてください。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|---------------|------------|-------------|
| 1. 平日も休日もほぼ毎日 | 2. 平日はほぼ毎日 | 3. 休日はほぼ毎日 |
| 4. 週に2～3回程度 | 5. 週に1回程度 | 6. 月に2～3回程度 |
| 7. 月に1回程度 | 8. 年に数回程度 | |

問 4 あなたがアンケートを受け取った際の主なバスの利用目的をおしえてください。該当する番号1つに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------|-------|----------|-----------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 通院・検診 | 4. 買物 |
| 5. 飲食・飲酒・娯楽 | 6. 業務 | 7. 会合 | 8. 習い事・趣味 |
| 9. その他 (_____) | | | |

問 5 問4の利用目的以外にバスを利用することがあれば、その目的をおしえてください。該当する番号全てに○をつけてください。

- | | | | |
|------------------|-------|----------|-----------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 通院・検診 | 4. 買物 |
| 5. 飲食・飲酒・娯楽 | 6. 業務 | 7. 会合 | 8. 習い事・趣味 |
| 9. その他 (_____) | | | |

問 6 あなたがアンケートを受け取った際のバス利用は、目的地への「行き」のバスでしたか。それとも目的地・施設からの「帰り」のバスでしたか。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 目的地への「行き」のバス | 2. 目的地からの「帰り」のバス |
|-----------------|------------------|

問 7 あなたがアンケートを受け取った際のバスが、「行き」だった場合には「帰り」に利用した交通手段を、「帰り」だった場合には「行き」に利用した交通手段をおしえてください。該当する番号に1つ〇をつけてください。

1. 行き又は帰りと同じバスを利用	2. 自動車（家族等の送迎）
3. タクシー	4. 徒歩
5. 路線バス	6. i-バスの他のコース（ <input type="text"/> コース）
7. ニコニコふれあいバス	8. 千秋ふれあいバス
9. その他（ <input type="text"/> ）	

問 8 「行き」と「帰り」で同じバス路線・コースを利用しなかった場合、その理由をおしえてください。該当する番号に1つ〇をつけるとともに、必要事項をご記入ください。

1. 「行き」または「帰り」に利用したい時間帯にバスが走っていないため (利用したい時間帯をおしえてください：午前・午後 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分頃)
2. バスで行こうと思えば行けるが、目的地まで時間がかかるため
3. 行きたい方向にバス路線がないため
4. 乗り継ぎが不便なため (乗り継ぎが不便な交通手段をおしえてください： <input type="text"/> から <input type="text"/>)
5. 家族が送迎してくれるため
6. その他（ <input type="text"/> ）

■バスの利便性を高める対応策についておたずねします。

問 9 バスをより利用しやすい交通手段とするため、あなたが効果的と思う対応策をおしえてください。該当する番号全てに〇をつけてください。

1. バス停周辺に駐輪場を整備する
2. バス停での待ち合い環境（屋根、ベンチなど）を改善する
3. バス停での情報提供（車両到着見込時刻など）を行う
4. バス車内で乗り継ぎ情報などを提供する
5. 病院やお店など主要な施設に路線図・時刻表を設置する
6. 時刻表や路線図を配布する
7. バスの利用促進に関するイベントを実施する
8. バスを利用したまち歩きや史跡探訪の地図を作成する
9. バス停や時刻表に、地域の企業やお店の広告情報を載せる
10. バス車内で地域の情報を発信する
11. バスにちなんだ啓発グッズを配布、販売する
12. バスの利用者に割引券を配布するなど、地域の商業施設と連携する
13. 学校において、子供を対象にバスの乗り方教室などの学習を行う
14. 職場において、ノーマイカーデーを設定するなど、車通勤者に対してバス利用を促す
15. その他（ <input type="text"/> ）

■バス利用の満足度と改善内容についておたずねします。

問10 あなたがアンケートを受け取った際のバスについて、バスサービスや乗り継ぎに関する以下の項目について、「どの程度満足しているか」5段階で評価してください。また、「やや不満」又は「不満」と回答された方は、その項目の具体的な改善内容を右頁にご記入ください。

		満足度					判断 でき ない
		満足	やや 満足	普通	やや 不満	不満	
例：	⑯ 手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	5	4	3	②	1	0
バス サー ビス につ いて	① バスの運行本数	5	4	3	2	1	0
	② バスの運行経路	5	4	3	2	1	0
	③ バスの運行経路の分かりやすさ	5	4	3	2	1	0
	④ 自宅から最寄りバス停までの距離	5	4	3	2	1	0
	⑤ 降車バス停から目的地・施設までの距離	5	4	3	2	1	0
	⑥ バスの発車時刻の分かりやすさ	5	4	3	2	1	0
	⑦ バスが運行している時間帯	5	4	3	2	1	0
	⑧ 目的地までの所要時間	5	4	3	2	1	0
	⑨ バスが時刻表どおりに発着すること	5	4	3	2	1	0
	⑩ バス停での行き先案内や時刻表の見やすさ	5	4	3	2	1	0
	⑪ バス停の待合環境（屋根やベンチの設置状況）	5	4	3	2	1	0
	⑫ バス停周辺での施設整備（駐輪場など）	5	4	3	2	1	0
	⑬ バスの乗り降りのしやすさ	5	4	3	2	1	0
	⑭ バスの乗り心地	5	4	3	2	1	0
	⑮ バス車内における案内表示のわかりやすさ	5	4	3	2	1	0
	⑯ 手持ちの路線図や時刻表の見やすさ	5	4	3	2	1	0
	⑰ 運賃体系	5	4	3	2	1	0
	⑱ バスの運転手の対応	5	4	3	2	1	0
乗 り 継 ぎ につ いて	⑲ 乗り継ぎの際の待ち時間	5	4	3	2	1	0
	⑳ 乗り継ぎに関する情報や乗り継ぎ案内のわかりやすさ	5	4	3	2	1	0
	㉑ 乗り継ぎをする際の移動距離	5	4	3	2	1	0
	㉒ 乗り継ぎをするバス停の待合環境（屋根やベンチの設置状況）	5	4	3	2	1	0
	㉓ 総合的な満足度	5	4	3	2	1	0

満足度において「やや不満」「不満」と回答された項目に関する具体的な改善内容

⑬

時刻表の字が小さくて見にくい。字を大きくしてほしい。

⑭

⑮

⑯

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

㉝

㉞

㉟

㊱

■あなたご自身のことについておたずねします。

問 1 1 あなたの性別をおしえてください。

1. 男性 2. 女性

問 1 2 あなたの年齢をおしえてください。

1. 20 歳未満 2. 20 歳代 3. 30 歳代
4. 40 歳代 5. 50 歳代 6. 60 歳以上 64 歳以下
7. 65 歳以上 69 歳以下 8. 70 歳以上 74 歳以下 9. 75 歳以上

問 1 3 あなたのご職業をおしえてください。

1. 会社員（公務員を含む） 2. 自営業 3. 専業主婦・主夫
4. 学生 5. アルバイト・パート 6. 無職
7. その他（_____）

問 1 4 あなたのお住まいの地区（連区）又は市町村名をおしえてください。

1. 宮西 2. 貴船 3. 神山 4. 大志 5. 向山
6. 富士 7. 葉栗 8. 西成 9. 丹陽町 10. 浅井町
11. 北方町 12. 大和町 13. 今伊勢町 14. 奥町 15. 萩原町
16. 千秋町 17. 起 18. 小信中島 19. 三条 20. 大徳
21. 朝日 22. 開明 23. 木曾川町
24. 地区が分からない方は小学校区をお書き下さい。 （_____）小学校区
25. 愛知県 _____市・町・村 26. _____県 _____市・町・村

問 1 5 あなたは自動車を自由に使えますか。

1. 自由に使える自動車がある 2. 家族と共同で使える自動車がある
3. 家族などが送迎してくれる自動車がある 4. 自由に使える自動車はない
5. その他（_____）

問 1 6 あなたは原付・バイク又は自転車を自由に使えますか。

1. 使える 2. 使えない 3. その他（_____）

問 1 7 路線バス、i-バス及び生活交通バスや公共交通が利用しづらい地域の交通対策など、地域の公共交通に関するご意見、ご意向がありましたら、自由にお書きください。

<自由意見欄>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。このアンケート調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**10月7日（金）まで**にお近くのポストに投函してください。